

岩見沢市総合計画策定のための  
基礎データ分析報告書

岩 見 沢 市



# 目次

1	土地・気象	1
	(1) 位置・地勢	1
	(2) 土地面積	1
	(3) 気象	2
2	人口・世帯	3
	(1) 総人口	3
	①総人口の推移	3
	②人口動態	5
	(2) 年齢3区分別人口	7
	(3) 世帯	8
	(4) 地区別人口	9
	①人口の推移	9
	②年齢3区分別人口割合	10
3	産業・雇用	11
	(1) 雇用・労働	11
	①就業者数	11
	②雇用の動き	12
	(2) 商業	13
	(3) 工業	15
	(4) 農業	16
	①農業産出額	16
	②農業経営体	17
	③経営耕地	18
	④販売農家	19
	(5) 観光	20
4	保健・医療・福祉	22
	(1) 健康	22
	(2) 地域医療	25
	(3) 高齢者	26
	(4) 障がい者	27
	(5) 生活保護	27
	(6) 子ども・子育て	28
5	社会基盤・環境	30
	(1) 道路	30
	(2) 公共交通	30
	(3) 公園	32

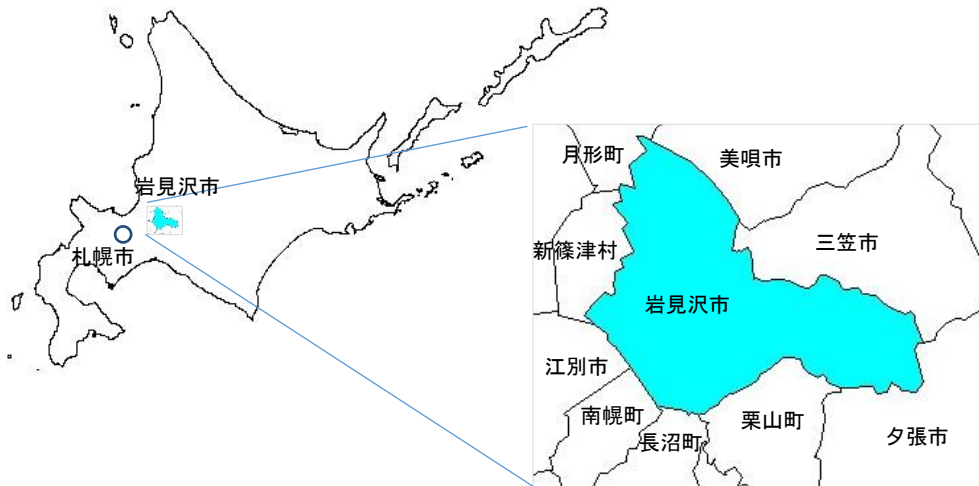
(4) 住宅	33
(5) ごみ処理	34
①家庭系一般ごみ排出量	34
②家庭系資源ごみ排出量	34
(6) 水道・下水道	35
(7) 火災・救急・交通事故・犯罪	35
6 教育・文化	36
(1) 学校教育	36
①小・中・高等学校等	36
②北海道教育大学岩見沢校	37
(2) 社会教育・文化施設	37
①社会教育・芸術・文化施設	37
②図書館	38
③社会体育施設	38
7 行財政運営	39
(1) 決算の状況	39
(2) 歳入の状況	40
①市税	40
②地方交付税	40
③市債	41
(3) 歳出の状況	42
①人件費	42
②扶助費	43
③公債費	43
④投資的経費	43
(4) 基金残高	44
(5) 市債残高	44
(6) 財政指標	45
①経常収支比率	45
②財政力指数	45
③実質公債費比率	46
④将来負担比率	46

# 1 土地・気象

## (1) 位置・地勢

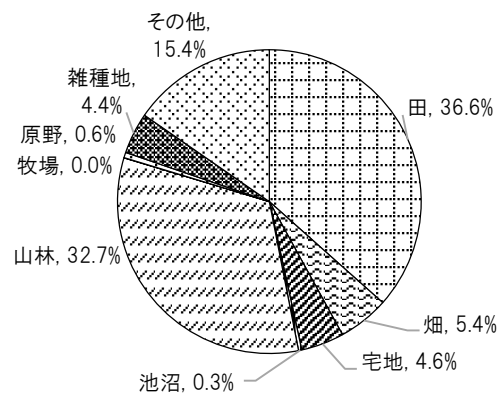
- 岩見沢市（以下、「本市」という。）は、北海道の中西部に位置し、札幌市まで約 40 km の距離にあります。東は夕張市、西は江別市のほか、石狩川を隔てて新篠津村、月形町、北は美唄市、三笠市、南は栗山町、長沼町、南幌町に接しています。
- 市域の西部には石狩川流域低地である平野が広がり、東部には夕張山地を形成する低山性の山々が連なっています。また、夕張山地を水源とする幾春別川、幌向川が低地帯に入るところで大小の扇状地をつくりながら、西部を貫流する石狩川と合流しています。

■岩見沢市の位置



## (2) 土地面積

- 本市の総面積は 481.02 km<sup>2</sup> で、網走市や北九州市と同程度の規模です。
- 地目別面積をみると、田と山林の割合が高く、合わせて全体の 7 割近くを占めています。



■地目別土地面積及び割合（平成 28 年）

【単位：km<sup>2</sup>】

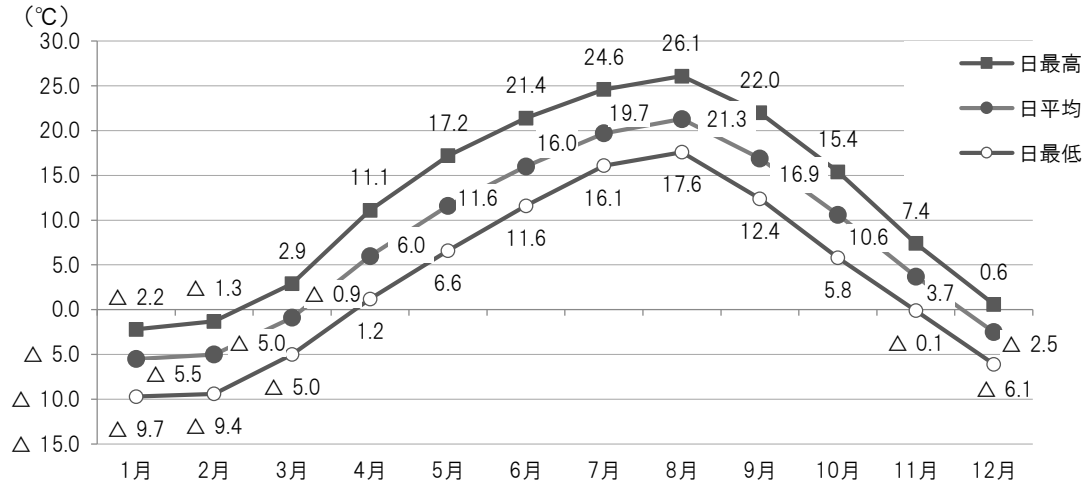
総面積	地目別面積								
	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
481.02	175.97	26.05	22.00	1.66	157.46	0.13	2.75	21.08	73.92
(100.0%)	(36.6%)	(5.4%)	(4.6%)	(0.3%)	(32.7%)	(0.0%)	(0.6%)	(4.4%)	(15.4%)

資料：岩見沢市資料

### (3) 気象

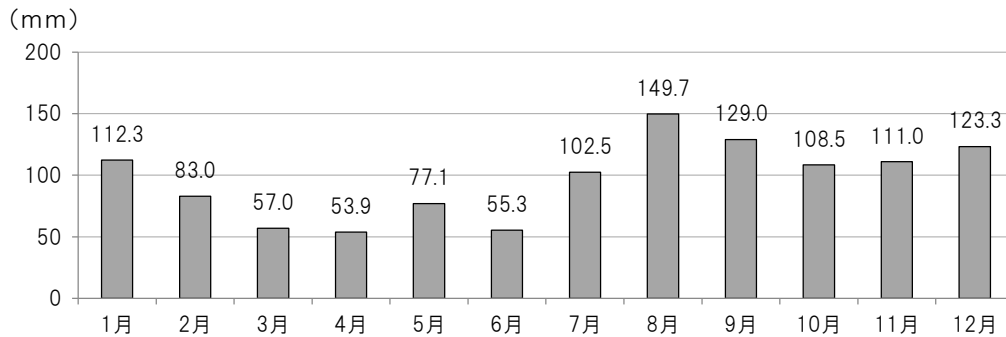
- 本市の年平均気温は7.6℃であり、月別にみると、最も高い8月(21.3℃)と最も低い1月(△5.5℃)の差が26.8℃と比較的大きく、四季の変化に富んだ気候が特徴です。
- 年間降水量は1,163mmであり、年間の平均降雪量が7mを超える道内有数の豪雪地帯となっています。

#### ■日平均気温、日最高気温・日最低気温の月別年平均値(1981年-2010年)



資料：気象庁ホームページ「過去の気象データ」

#### ■降水量の月別年平均値(1981年-2010年)



資料：気象庁ホームページ「過去の気象データ」

#### ■年別累積降雪量・年別最深積雪

【単位：cm】

	平年値 (1981年 -2010年)	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
最深積雪	123	97	113	64	98	133	208	164	144	121	142
累積降雪量	753	489	620	546	694	632	1,040	877	696	508	657

資料：気象庁ホームページ「過去の気象データ」

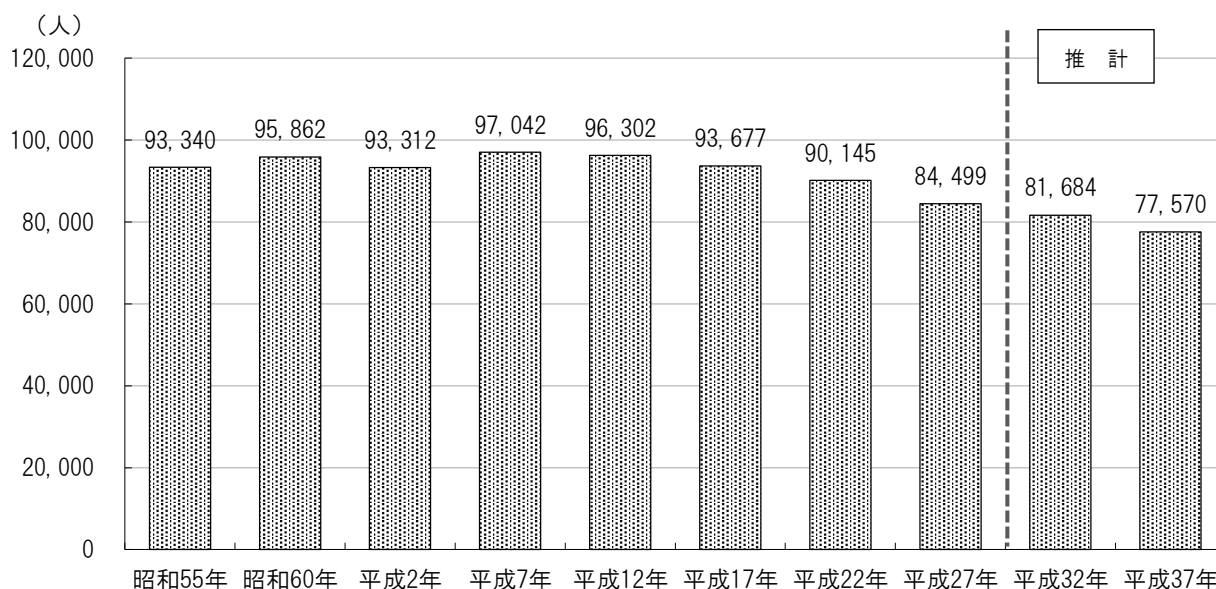
## 2 人口・世帯

### (1) 総人口

#### ① 総人口の推移

- 本市の総人口（国勢調査）は、平成7年に97,042人に達した後、緩やかな減少に転じ、平成27年では84,499人となっています。
- 5年毎の減少数・減少率ともに拡大するなど、近年は人口減少が加速しており、「岩見沢市人口ビジョン（平成28年1月）」の推計では、平成37年の総人口を77,570人と見込んでいます。

#### ■ 総人口の推移



資料：(実績) 総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(推計) 「岩見沢市人口ビジョン（平成28年1月）」における試算

(合計特殊出生率：1.6(2020年)→1.8(2030年)→2.07(2040年～))

2020年に転出超過が2014年の2分の1、2040年以降は社会増減が均衡するものと仮定)

※本書で同推計を用いる場合に共通

#### ■ 5年ごとの増減数・増減率

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口(人)	93,340	95,862	93,312	97,042	96,302	93,677	90,145	84,499
増減数(人)	-	2,522	△2,550	3,730	△740	△2,625	△3,532	△5,646
増減率(%)	-	2.70%	△2.66%	4.00%	△0.76%	△2.73%	△3.77%	△6.26%

資料：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

○人口5万人以上15万人未満の道内9市（小樽市、室蘭市、北見市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市（以下「比較対象都市」という。））における人口の増減（国勢調査）をみると、千歳市、恵庭市以外ではいずれも減少していますが、その中でも本市は、小樽市、室蘭市に次いで減少率が高く、比較対象都市の中でも人口減少が進行している地域といえます。

■比較対象都市等における人口増減

【単位：人】

自治体等	平成22年	平成27年	増減	
			増減数	増減率(%)
北海道	5,506,419	5,381,733	△ 124,686	△ 2.26
市部	4,449,360	4,395,172	△ 54,188	△ 1.22
郡部	1,057,059	986,561	△ 70,498	△ 6.67
小樽市	131,928	121,924	△ 10,004	△ 7.58
北見市	125,689	121,226	△ 4,463	△ 3.55
江別市	123,722	120,636	△ 3,086	△ 2.49
千歳市	93,604	95,648	2,044	2.18
室蘭市	94,535	88,564	△ 5,971	△ 6.32
岩見沢市	90,145	84,499	△ 5,646	△ 6.26
恵庭市	69,384	69,702	318	0.46
北広島市	60,353	59,064	△ 1,289	△ 2.14
石狩市	59,449	57,436	△ 2,013	△ 3.39

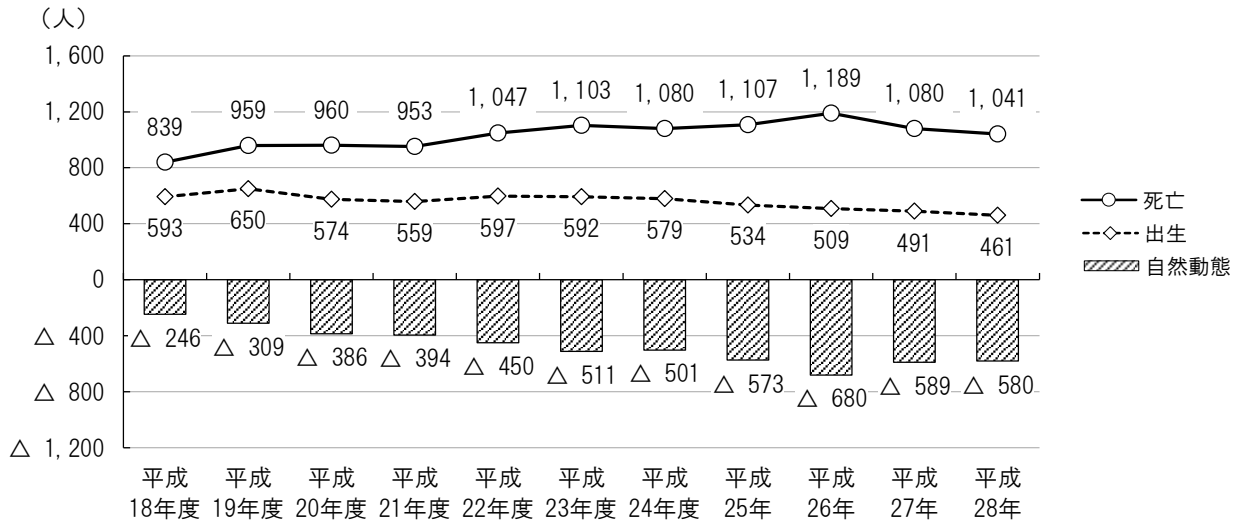
資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）



## ②人口動態

○人口動態をみると、自然動態（出生数－死亡数）、社会動態（転入数－転出数）ともにマイナスの状況が続いており、いずれも人口減少の要因となっていますが、社会動態は、平成28年に転出超過が減少しており、改善がみられます。

### ■出生数・死亡数・自然動態の推移

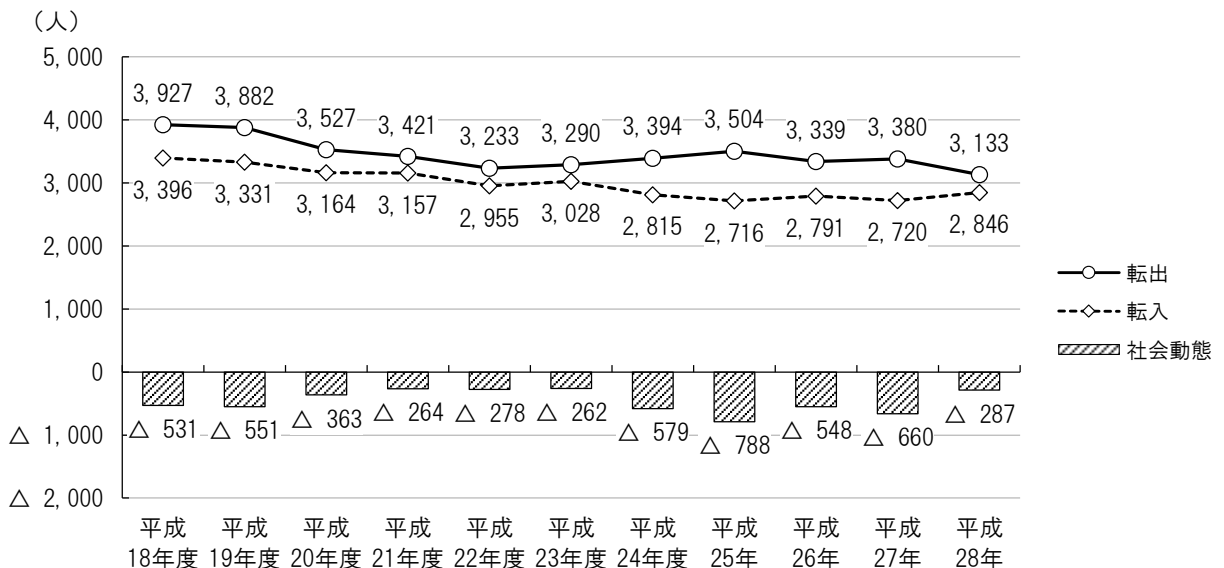


資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※平成24年度までは4月1日から翌3月31日まで、平成25年以降は1月1日から12月31日まで

※平成28年は「岩見沢市資料（速報値）」

### ■転入数・転出数・社会動態の推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※平成24年度までは4月1日から翌3月31日まで、平成25年以降は1月1日から12月31日まで

※平成28年は「岩見沢市資料（速報値）」

○比較対象都市における自然増減率及び社会増減率をみると、本市は、自然増減では小樽市、室蘭市に次いで減少率が高く、社会増減では減少率が最も高くなっています。

■比較対象都市等の自然増減率・社会増減率（平成 27 年）

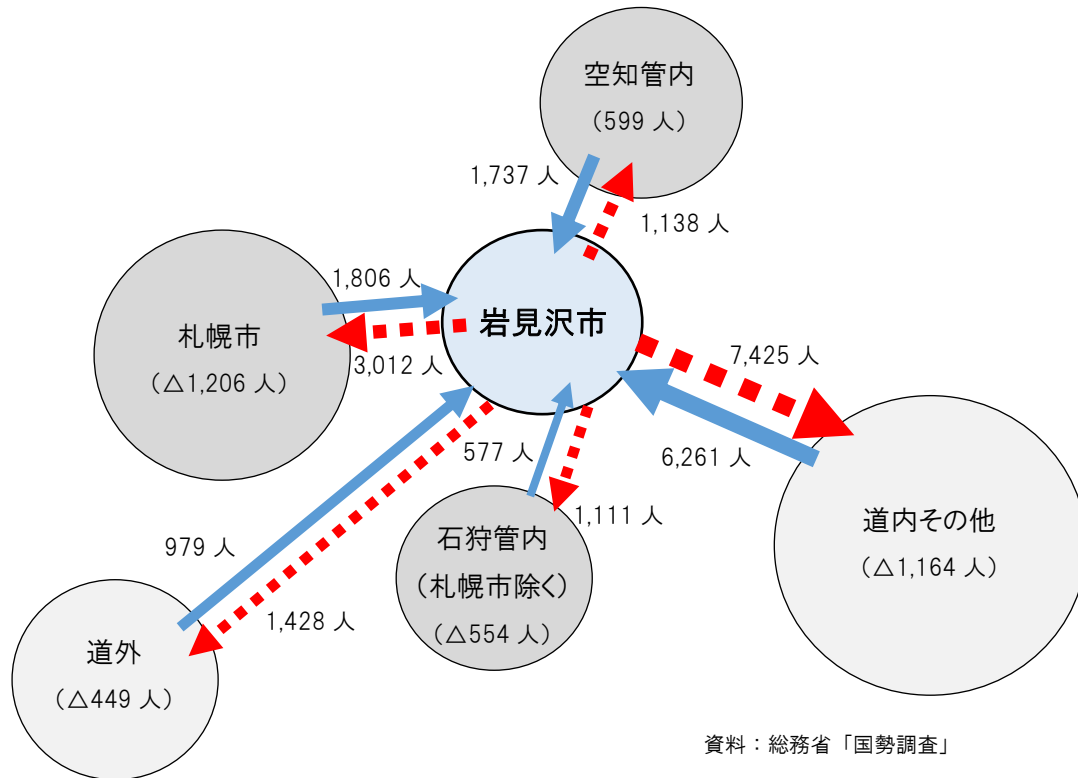
【単位：％】

自治体等	自然増減率	社会増減率
全 国	△ 0.22	0.09
北 海 道	△ 0.44	△ 0.12
小 樽 市	△ 1.04	△ 0.64
室 蘭 市	△ 0.76	△ 0.56
北 見 市	△ 0.48	△ 0.46
岩 見 沢 市	△ 0.68	△ 0.76
江 別 市	△ 0.48	△ 0.10
千 歳 市	0.25	0.16
恵 庭 市	△ 0.25	0.42
北 広 島 市	△ 0.39	△ 0.08
石 狩 市	△ 0.49	0.22

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

○国勢調査から、平成 22 年から平成 27 年の人口移動を地域別にみると、空知管内の市町に対しては転入超過である一方で、その他の区分では、いずれも転出超過となっています。

■地域別にみた転入・転出数（平成 22 年から平成 27 年）

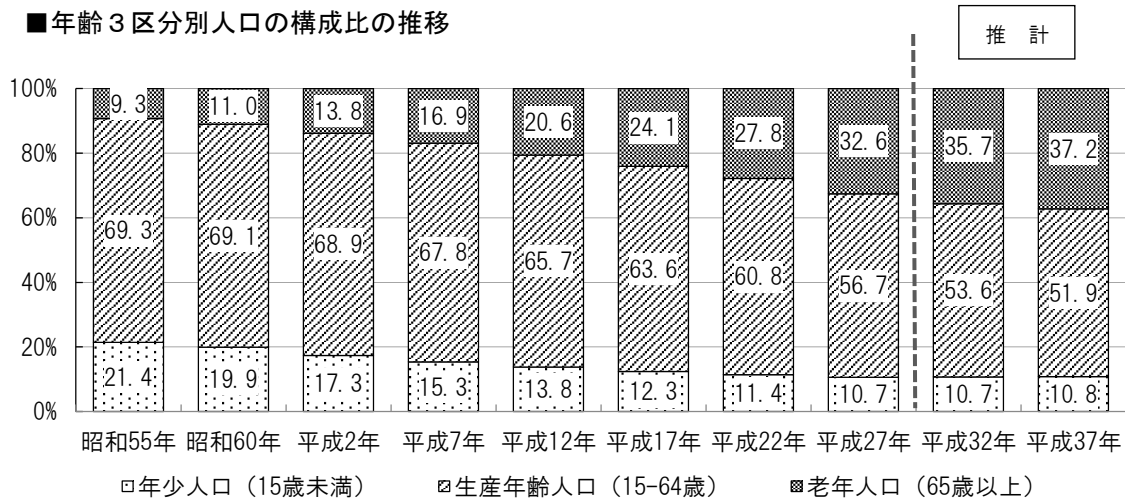


## (2) 年齢3区分別人口

○平成27年の年齢3区分別人口（国勢調査）をみると、15歳未満の年少人口が総人口に占める割合は10.7%と、昭和55年と比較して半減となる一方、65歳以上の老年人口の割合（高齢化率）は32.6%と大きく増加しています。

○「岩見沢市人口ビジョン」の推計では、少子高齢化は今後も着実に進行し、平成37年には高齢化率が37.2%になると予測しています。

■年齢3区分別人口の構成比の推移



※年齢不詳を除く割合

資料：(実績) 総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)  
(推計)「岩見沢市人口ビジョン」

○比較対象都市の中での位置や、全道平均との比較においても、少子高齢化の傾向が強くみられます。

■総人口に占める年少人口・老年人口の割合（平成27年）

自治体等	年少人口割合 (%)	自治体等	老年人口割合 (%)
北海道	11.4	北海道	29.1
市	11.3	市	28.1
郡	11.5	郡	33.4
千歳市	14.2	小樽市	37.2
恵庭市	13.1	室蘭市	34.1
石狩市	12.9	<b>岩見沢市</b>	<b>32.6</b>
北広島市	12.2	北見市	30.2
江別市	11.2	石狩市	30.0
北見市	11.2	北広島市	29.0
<b>岩見沢市</b>	<b>10.7</b>	江別市	27.1
室蘭市	10.4	恵庭市	25.1
小樽市	9.2	千歳市	20.9

※年齢不詳を除く割合

資料：総務省「国勢調査」(平成27年10月1日現在)

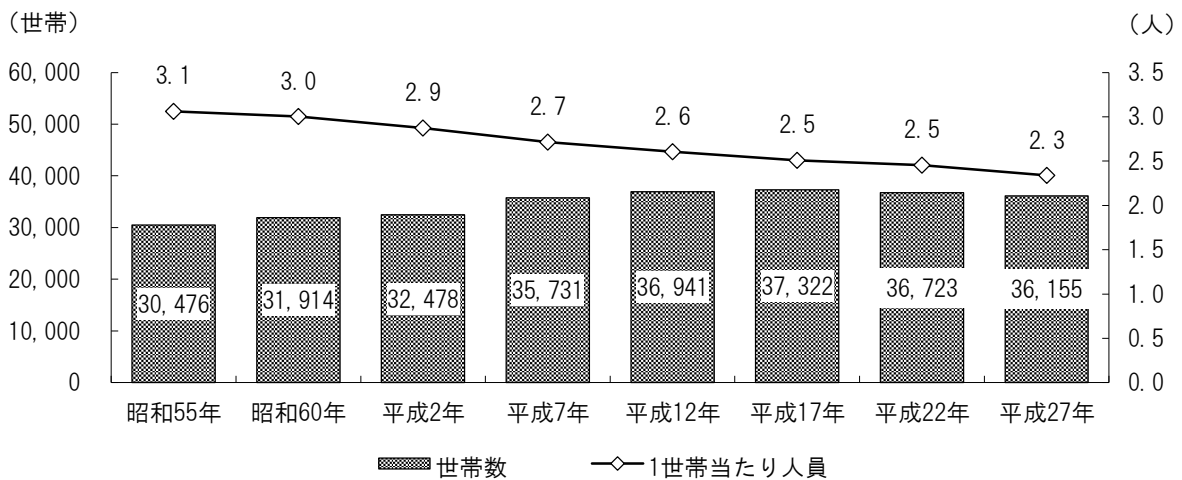
### (3) 世帯

○本市の世帯数（国勢調査）は、総人口が減少に転じた平成7年以降も増加を続けてきましたが、平成17年からは微減で推移しています。

○1世帯当たり人員は一貫して減少しており、核家族化や単身世帯の増加が進んでいます。

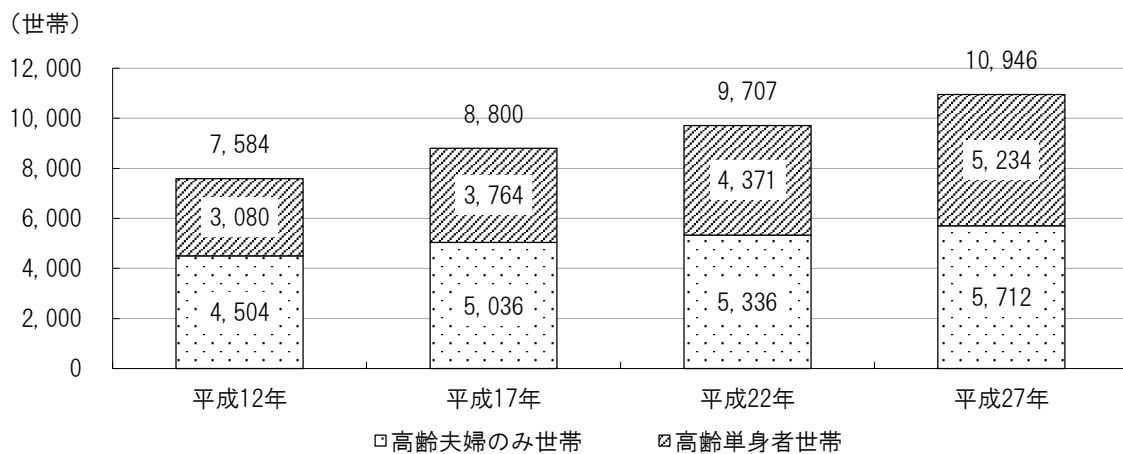
○65歳以上の高齢者のいる世帯のうち、夫婦のみ世帯または単身世帯は総世帯数が減少する中でも増加を続け、平成27年には総世帯数（36,155世帯）の3割以上を占めるまでになっています。

■世帯数及び1世帯当たり人員の推移



資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

■高齢夫婦のみ世帯、高齢単身世帯の推移



資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

## (4) 地区別人口

### ①人口の推移

○人口の推移を地区別（旧岩見沢市・北村・栗沢町）で見ると、3地区ともに合併後の人口減少が続いています。

○特に北村・栗沢では合併前からの人口減少に歯止めがかかっておらず、平成27年の人口は昭和55年の半分程度にまで減少しています。

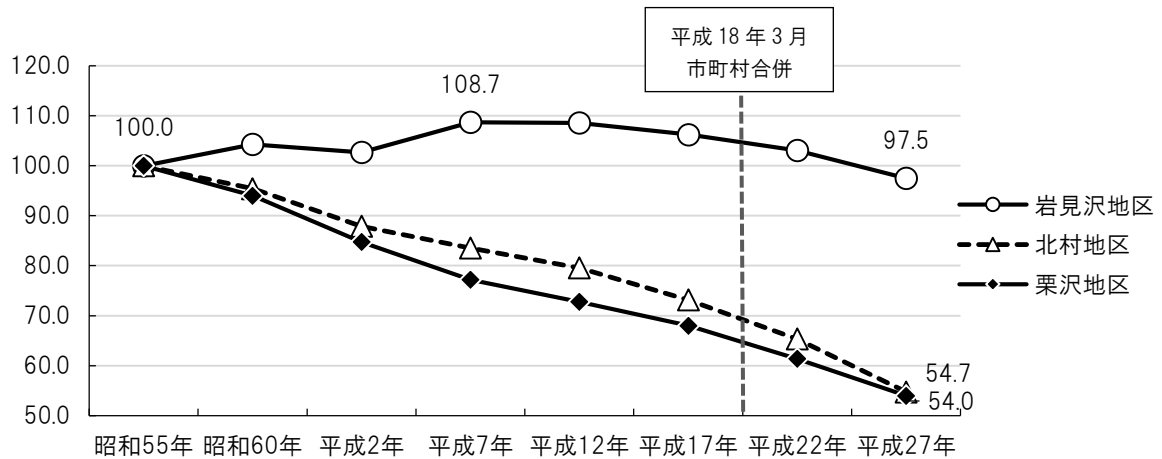
■地区別の人口推移及び5年ごとの増減数・増減率

【単位：人】

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
岩見沢地区	人口	78,311	81,664	80,417	85,125	85,029	83,202	80,722	76,348
	増減数 (増減率)		3,353 (4.3%)	△1,247 (△1.5%)	4,708 (5.9%)	△96 (△0.1%)	△1,827 (△2.1%)	△2,480 (△3.0%)	△4,374 (△5.4%)
北村地区	人口	4,945	4,718	4,347	4,131	3,935	3,618	3,232	2,707
	増減数 (増減率)		△227 (△4.6%)	△371 (△7.9%)	△216 (△5.0%)	△196 (△4.7%)	△317 (△8.1%)	△386 (△10.7%)	△525 (△16.2%)
栗沢地区	人口	10,084	9,480	8,548	7,786	7,338	6,857	6,191	5,444
	増減数 (増減率)		△604 (△6.0%)	△932 (△9.8%)	△762 (△8.9%)	△448 (△5.8%)	△481 (△6.6%)	△666 (△9.7%)	△747 (△12.1%)
全 体	人口	93,340	95,862	93,312	97,042	96,302	93,677	90,145	84,499
	増減数 (増減率)		2,522 (2.7%)	△2,550 (△2.7%)	3,730 (4.0%)	△740 (△0.8%)	△2,625 (△2.7%)	△3,532 (△3.8%)	△5,646 (△6.3%)

資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

■昭和55年の総人口を100とした場合の地区別の人口推移

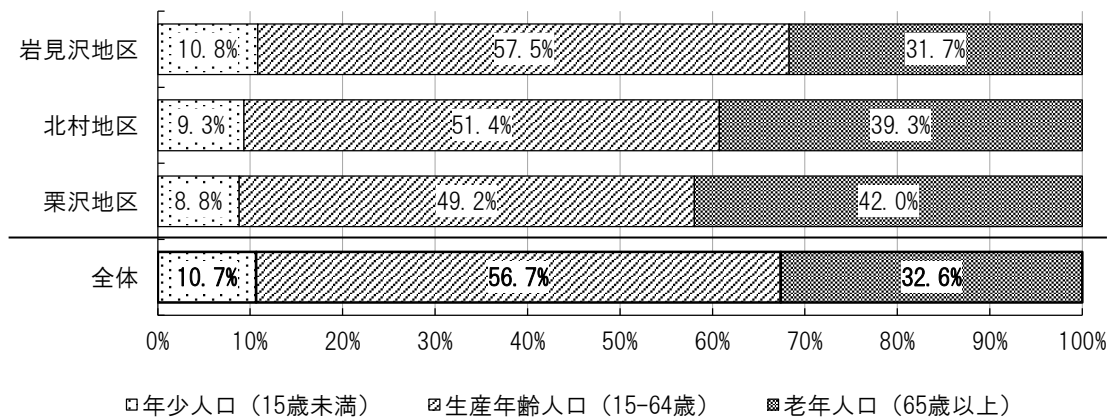


資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

## ②年齢3区分別人口割合

○平成27年の年齢3区分別人口（国勢調査）を地区別にみると、北村地区、栗沢地区では老年人口の割合（高齢化率）が4割前後と非常に高くなっています。

■年齢3区分人口の構成比（平成27年）



※年齢不詳を除く割合

資料：総務省「国勢調査」（平成27年10月1日現在）

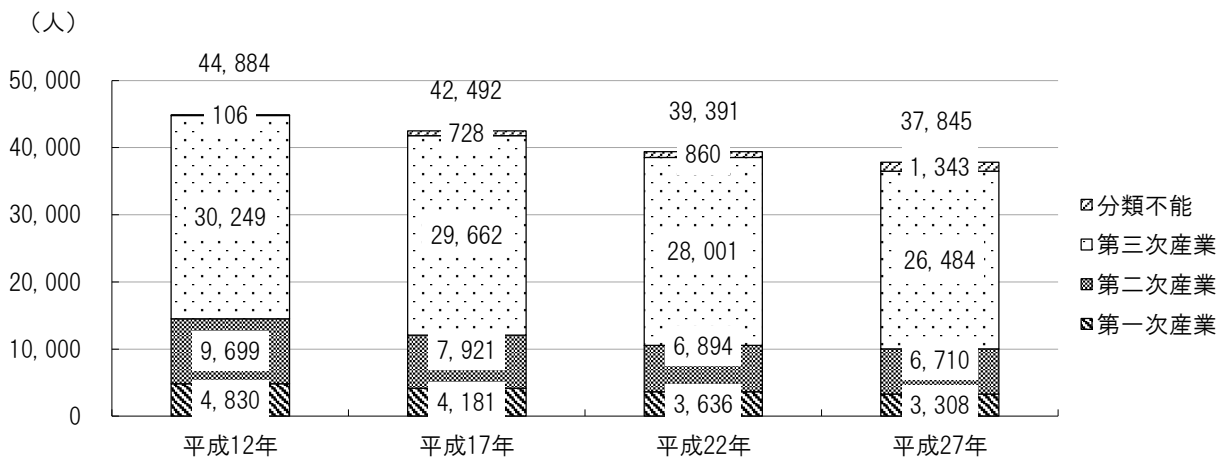
### 3 産業・雇用

#### (1) 雇用・労働

##### ① 就業者数

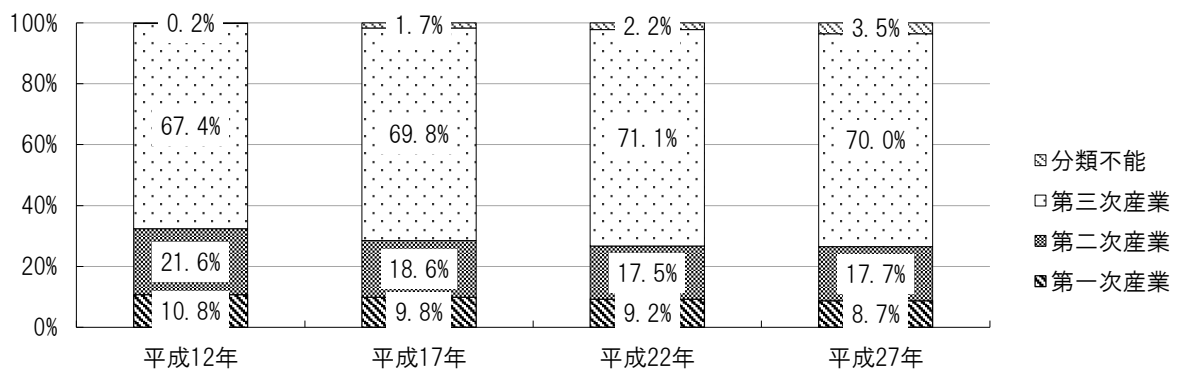
- 本市の就業者数（国勢調査）は、平成27年10月1日時点で37,845人となっています。
- このうち、第一次産業就業者の占める割合は8.7%、第二次産業が17.7%、第三次産業が70.0%で、第一次産業就業者の占める割合は減少を続けています。

■産業別就業者数の推移



資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

■産業別就業者数の構成比の推移



資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

○比較対象都市の中では、第一次産業就業者の割合が高い一方で、第二次産業・第三次産業就業者の割合が低くなっています。

■比較対象都市の産業別就業人口の構成比（平成27年）

【単位：％】

自治体等		第一次産業割合	自治体等		第二次産業割合	自治体等		第三次産業割合
全	国	4.0	全	国	25.0	全	国	71.0
北	海	7.4	北	海	17.9	北	海	74.7
岩	見	9.1	室	蘭	26.1	小	樽	80.4
北	見	7.5	石	狩	23.7	北	広	80.0
石	狩	5.1	恵	庭	21.6	江	別	78.2
恵	庭	4.0	江	別	19.0	千	歳	78.1
千	歳	3.0	千	歳	18.9	恵	庭	74.4
江	別	2.9	北	見	18.6	北	見	73.9
北	広	2.2	岩	見	18.4	室	蘭	72.9
小	樽	1.4	小	樽	18.1	岩	見	72.6
室	蘭	1.0	北	広	17.8	石	狩	71.2

※分類不能を除く

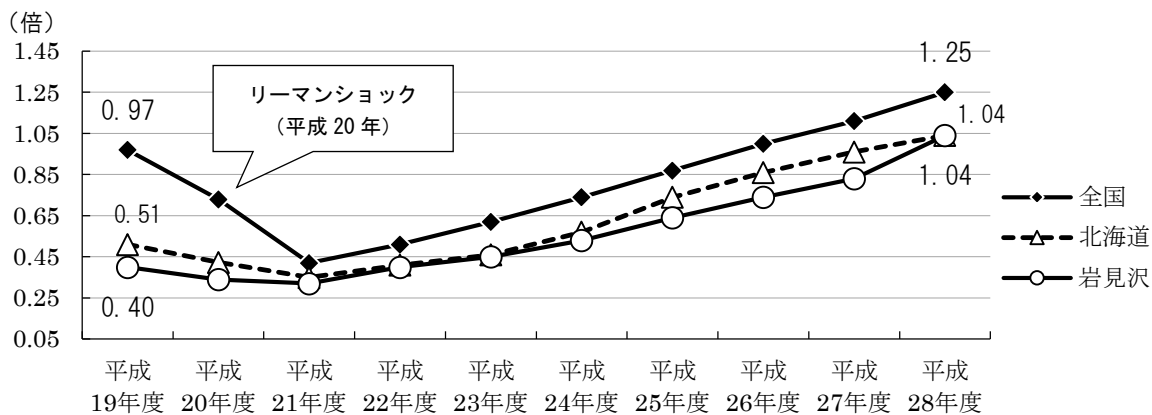
資料：総務省「国勢調査」（平成27年10月1日現在）

②雇用の動き

○本市の有効求人倍率（管内他市町村を含む）は、リーマンショック以降の全国的な景気回復基調から平成28年度に1を超えましたが、全国と比較すると、低い水準で推移しています。

○全国では、リーマンショック後の世界同時不況から立ち直り、雇用環境は順調な回復を示していますが、本市の場合、その動きはより緩やかなものとなっています。

■有効求人倍率の推移（ハローワーク岩見沢管内）



※ハローワーク岩見沢の管轄区域は、岩見沢市、美唄市、三笠市、南幌町、浦臼町、月形町

資料：北海道労働局「安定所別月間有効求人倍率（常用）」（各年度平均値）

■完全失業率の推移

	平成17年	平成22年	平成27年
全 国	6.0%	6.4%	4.2%
北 海 道	6.5%	7.1%	4.6%
岩 見 沢 市	6.8%	7.8%	4.9%

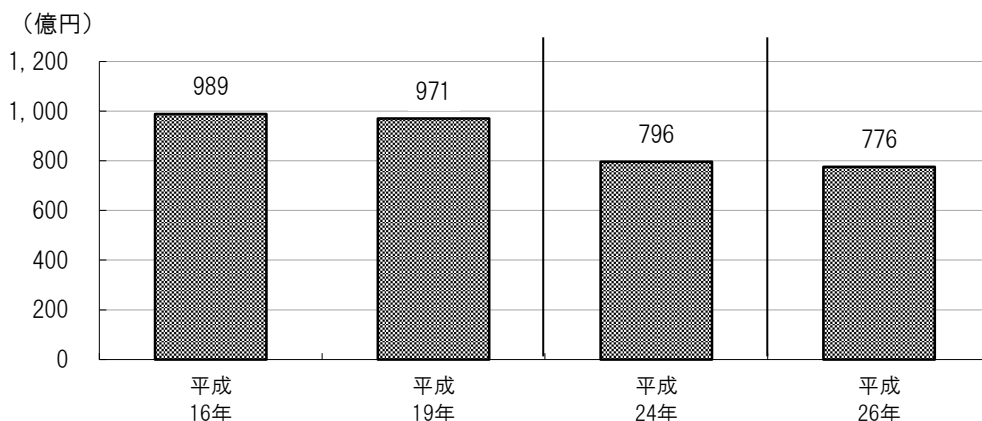
資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）



## (2) 商業

- 本市の小売業については、近年縮小傾向が続いており、年間商品販売額は平成16年から平成26年までの10年間で約200億円減少しています。
- 事業所数、売場面積、従業員数といった指標も総じて減少していますが、商業集積の進む一部都市を除き、全国、全道及び比較対象都市においても概ね同様の傾向を示しています。

### ■小売業の年間商品販売額の推移



※平成19年以前と平成24年、平成26年とでは調査の方法等が異なるため、単純比較はできない。

資料：経済産業省「商業統計調査」(平成16, 19, 26年)

総務省「経済センサス-活動調査」(平成24年)

### ■売場面積の増減の比較

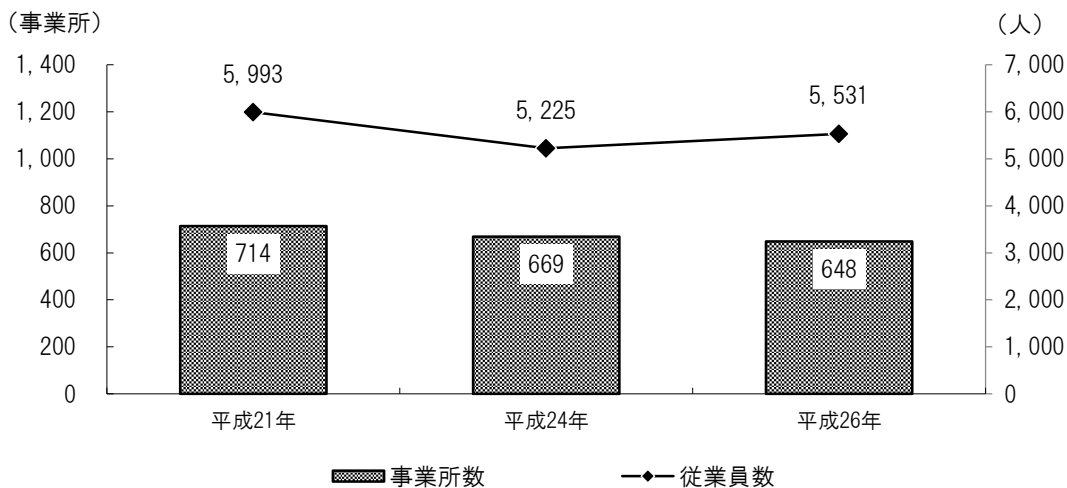
【単位：㎡】

	平成19年	平成26年	増減率
全 国	149,664,906	134,854,063	△ 9.9%
北 海 道	6,863,789	6,557,756	△ 4.5%
小 樽 市	191,044	178,984	△ 6.3%
室 蘭 市	143,243	108,427	△ 24.3%
北 見 市	186,307	182,630	△ 2.0%
岩 見 沢 市	134,421	114,437	△ 14.9%
江 別 市	100,509	116,534	15.9%
千 歳 市	137,913	113,926	△ 17.4%
恵 庭 市	66,189	69,626	5.2%
北 広 島 市	70,107	107,892	53.9%
石 狩 市	60,893	55,600	△ 8.7%

※平成19年と平成26年とでは調査の方法等が異なるため、単純比較はできない。

資料：経済産業省「商業統計調査」

■小売業の事業所数・従業員数の推移



資料：総務省「経済センサス-基礎調査」(平成21、26年)  
「経済センサス-活動調査」(平成24年)

■比較対象都市等における事業所数・従業員数の増減

【単位：事業所、人】

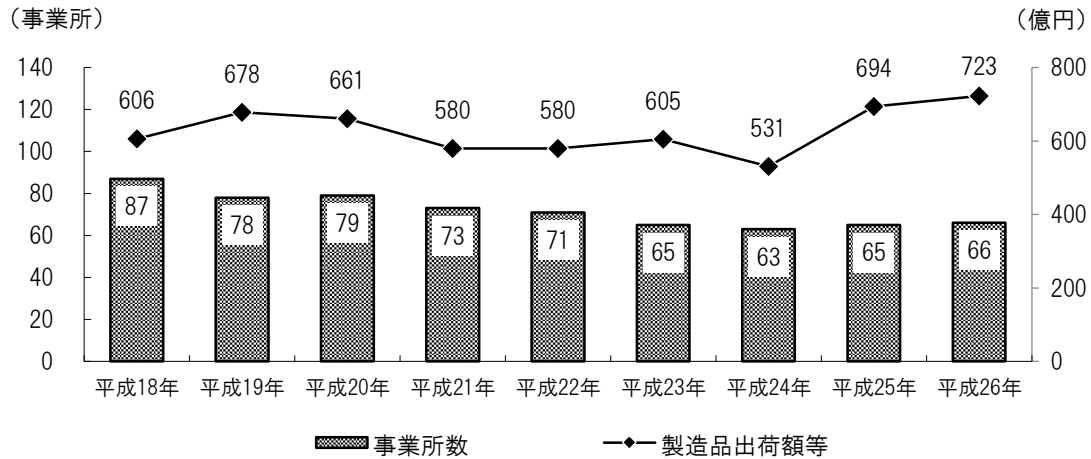
	事業所数			従業員数		
	平成21年	平成26年	増減率	平成21年	平成26年	増減率
全 国	1,153,172	1,025,058	△ 11.1%	8,571,741	8,023,366	△ 6.4%
北 海 道	46,567	42,161	△ 9.5%	375,098	344,446	△ 8.2%
小 樽 市	1,573	1,380	△ 12.3%	10,151	8,822	△ 13.1%
室 蘭 市	914	766	△ 16.2%	6,506	5,711	△ 12.2%
北 見 市	1,170	1,079	△ 7.8%	9,414	8,570	△ 9.0%
岩 見 沢 市	714	648	△ 9.2%	5,993	5,531	△ 7.7%
江 別 市	639	620	△ 3.0%	6,510	6,188	△ 4.9%
千 歳 市	692	711	2.7%	6,760	6,531	△ 3.4%
恵 庭 市	379	359	△ 5.3%	3,456	3,393	△ 1.8%
北 広 島 市	287	427	48.8%	3,499	4,474	27.9%
石 狩 市	350	304	△ 13.1%	3,087	2,739	△ 11.3%

資料：総務省「経済センサス-基礎調査」

### (3) 工業

○本市の工業をみると、製造業の事業所数は減少から近年は横ばいにとどまっていますが、製造品出荷額等は上昇に転じています。

#### ■製造業事業所数・製造品出荷額等の推移



資料：経済産業省「工業統計調査」

※平成23年のみ総務省「経済センサス-活動調査」(平成24年)

○比較対象都市の中では、製造業の事業所数、従業員数、製造品出荷額等のいずれも下位にあります。

#### ■比較対象都市における事業所数・従業員数・製造品出荷額等 (平成26年)

【単位：事業所、人、億円】

	事業所数	従業員数	製造品出荷額等
室蘭市	132	7,723	12,982
千歳市	96	7,020	2,455
小樽市	238	7,310	1,731
恵庭市	77	4,245	1,370
石狩市	124	3,930	1,126
江別市	80	3,587	920
北広島市	78	2,229	848
岩見沢市	66	2,277	723
北見市	119	2,871	632

資料：経済産業省「工業統計調査」(平成26年)

## (4) 農業

### ① 農業産出額

○本市の農業産出額（耕種）は、道内全市町村の中でも3番目に高く、本市の特長となっています。

#### ■道内市町村別農業産出額（耕種）（平成27年）

【単位：千万円】

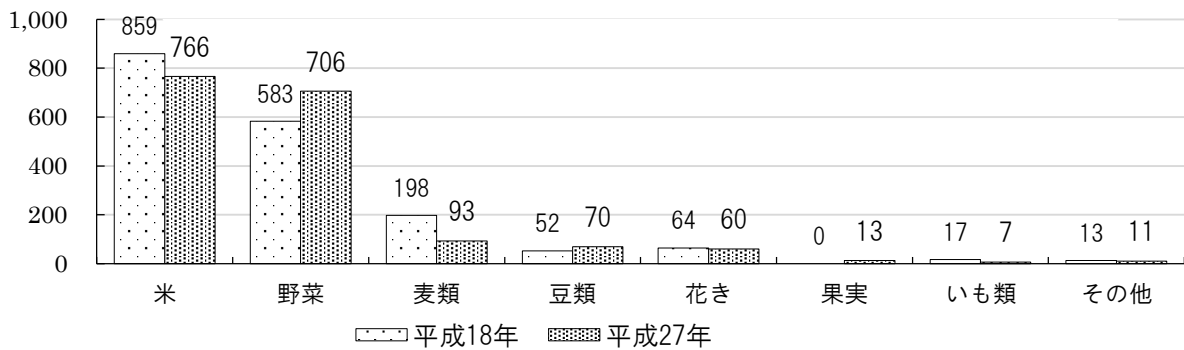
順位	自治体名	農業産出額
1	北見市	2,380
2	帯広市	1,813
3	岩見沢市	1,725
4	芽室町	1,704
5	幕別町	1,698
6	音更町	1,462
7	富良野市	1,405
8	旭川市	1,028
9	美幌町	1,017
10	大空町	987

資料：農林水産省「平成27年市町村別農業産出額（推計）」

○農業産出額の部門別の内訳をみると、米と野菜の比率がそれぞれ全体の4割以上を占めていますが、米や麦類が減少する一方で、近年は野菜の割合が高くなっています。

#### ■部門別農業産出額（耕種）

（千万円）



※調査方法の変更等により、採用した資料が異なるため、単純比較はできない。

資料：農林水産省「平成18年生産農業所得統計」  
農林水産省「平成27年市町村別農業産出額（推計）」

## ②農業経営体

- 農業経営体数は、平成27年2月1日現在で1,066経営体で、平成17年に比べ33.7%減少しています。
- 経営体数を地区別にみると、北村地区、栗沢地区がそれぞれ全体の約3割を占めています。また、法人化している経営体は北村地区に全体の約半数が集中しています。

### ■組織形態別農業経営体数

【単位：経営体】

	合計		
		法人化している	法人化していない
平成17年	1,609	73	1,536
平成22年	1,265	92	1,173
平成27年	1,066	106	960

資料：農林水産省「農林業センサス」

### ■地区別農業経営体数・構成比（平成27年）

【単位：経営体】

	農業経営体数	構成比	法人化	
			している	していない
全 体	1,066	100.0%	106	960
岩見沢地区	462	43.3%	41	421
北村地区	311	29.2%	52	259
栗沢地区	293	27.5%	13	280

資料：農林水産省「農林業センサス」

- 平成27年における農業経営体を他の道内市（農業産出額が道内市町村中10位以内）と比較すると、農業産出額が上位の北見市や帯広市よりも経営体数が多いことから、一経営体あたりの平均ではこれらの都市より小規模経営となっています。また、平成17年との比較でみると、道内全体や上位市よりも経営体数の減少が進んでいます。
- 法人化している経営体の割合は、北見市に次いで高く、全道も上回っていることから、法人化が比較的進んでいることがうかがえます。

### ■農業経営体数の推移の比較

【単位：経営体】

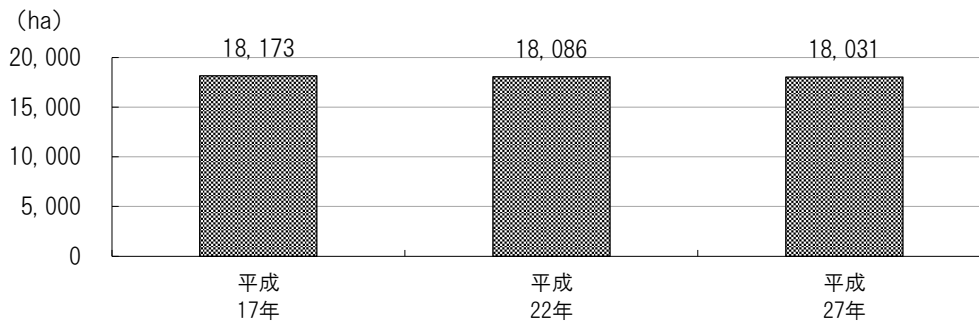
	農業経営体					
	平成17年	平成27年	増減率	うち法人化している		
				平成17年 (割合)	平成27年 (割合)	増減率
北海道	54,616	40,714	△ 25.5%	2,681 (4.9%)	3,576 (8.8%)	33.4%
北見市	1,190	908	△ 23.7%	75 (6.3%)	99 (10.9%)	32.0%
帯広市	773	695	△ 10.1%	39 (5.0%)	68 (9.8%)	74.4%
岩見沢市	1,609	1,066	△ 33.7%	73 (4.5%)	106 (9.9%)	45.2%
富良野市	863	655	△ 24.1%	29 (3.4%)	32 (4.9%)	10.3%
旭川市	1,801	1,196	△ 33.6%	36 (2.0%)	68 (5.7%)	88.9%

資料：農林水産省「農林業センサス」

### ③経営耕地

○経営耕地面積の推移をみると、農業経営体が大きく減少する一方で、平成17年から平成27年までの10年間で142ha（0.8%）の減少にとどまり、ほぼ横ばいで推移しています。

#### ■経営耕地面積の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

- 経営耕地面積規模別の経営体数の推移をみると、経営耕地面積が10ha未満の経営体が減少する一方で、20ha以上の経営体が増加しており、大規模経営体への集積が進んでいます。
- 地区別にみると、北村地区では比較的大規模な経営体が多く、逆に栗沢地区では小規模経営体の割合が高くなっています。

#### ■経営耕地面積規模別経営体数・構成比の推移

【単位：経営体】

	総数	5.0ha未満	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上
平成17年	1,609	351 (21.8%)	496 (30.8%)	550 (34.2%)	212 (13.2%)
平成22年	1,265	243 (19.2%)	283 (22.4%)	438 (34.6%)	301 (23.8%)
平成27年	1,066	161 (15.1%)	198 (18.6%)	373 (35.0%)	334 (31.3%)
岩見沢地区	462	72 (15.6%)	119 (25.8%)	155 (33.5%)	116 (25.1%)
北村地区	311	12 (3.9%)	32 (10.3%)	129 (41.5%)	138 (44.4%)
栗沢地区	293	77 (26.3%)	47 (16.0%)	89 (30.4%)	80 (27.3%)

資料：農林水産省「農林業センサス」

#### ■地区別経営耕地面積・構成比（平成27年）

【単位：ha】

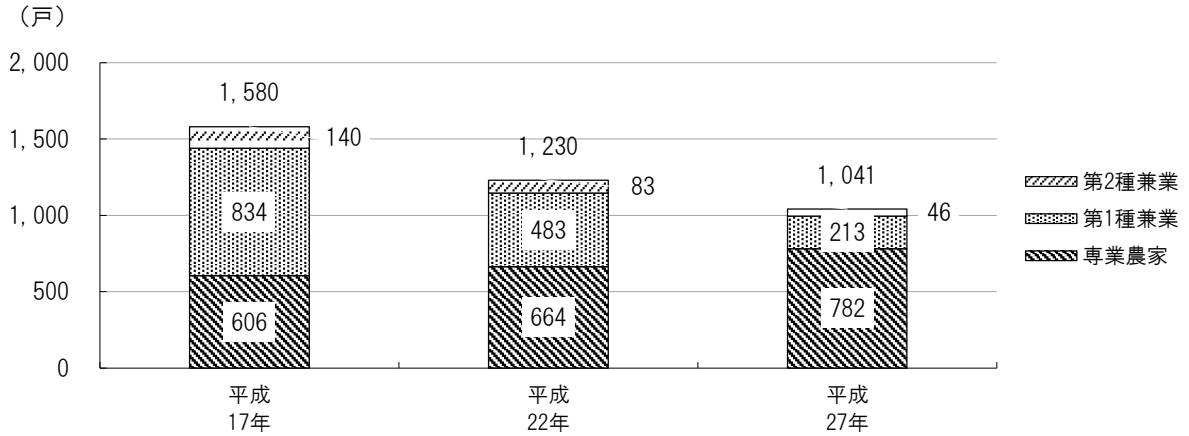
	耕地面積	構成比
全体	18,031	100.0%
岩見沢地区	7,166	39.7%
北村地区	6,483	36.0%
栗沢地区	4,381	24.3%

資料：農林水産省「農林業センサス」

#### ④販売農家

○販売農家数の推移をみると、平成17年の1,580戸から平成27年には1,041戸となり、10年間で539戸（34.1%）減少しています。

##### ■販売農家数の推移



○農業就業人口は、平成17年から10年間で1,137人（29.7%）減少しており、平成27年で2,686人となっています。

○農業就業人口のうち、65歳以上の農業就業者は931人で全体の3割以上を占めています。また、農業後継者のいない農家が全体の7割以上を占めており、担い手の確保が課題となっています。

##### ■年齢別農業就業人口・構成比の推移

【単位：人】

	平成17年		平成22年		平成27年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
農業就業人口	3,823	100.0%	3,175	100.0%	2,686	100.0%
15-29歳	232	6.1%	208	6.6%	155	5.8%
30-49歳	943	24.7%	731	23.0%	638	23.8%
50-64歳	1,338	35.0%	1,179	37.1%	962	35.8%
65歳以上	1,310	34.3%	1,057	33.3%	931	34.7%

資料：農林水産省「農林業センサス」

##### ■農業後継者の有無別農家数（平成27年）

【単位：戸】

販売農家数 (総数)	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない	他出農業後継者	
		男	女		他出農業後継者	
					いる	いない
1,041	234	227	7	807	78	729

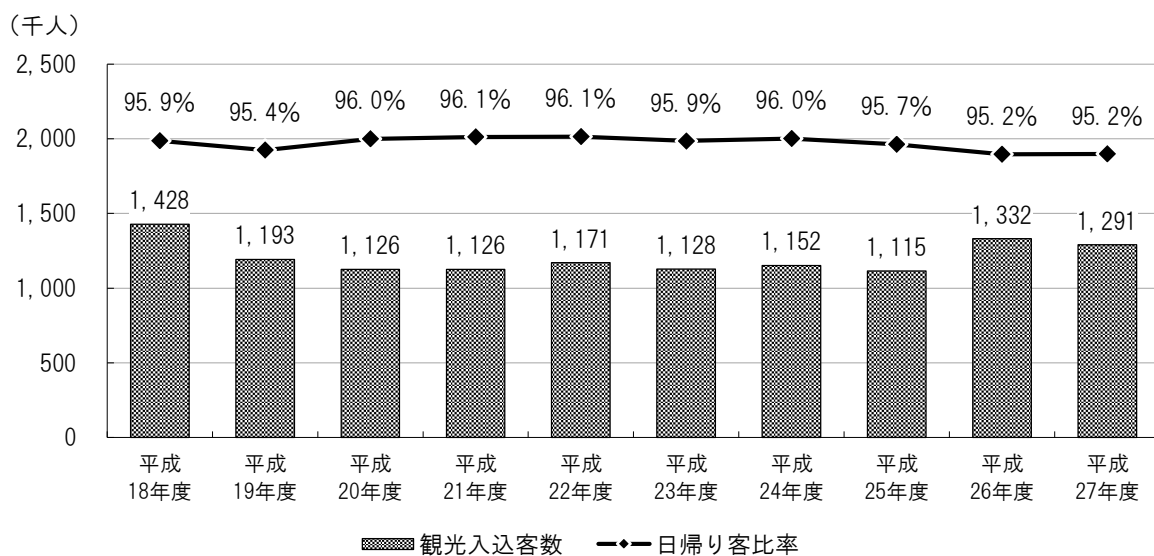
資料：農林水産省「農林業センサス」

## (5) 観光

○本市には毎年 100 万人以上の観光客が訪れており、その9割以上が道内からの日帰り客で占められています。

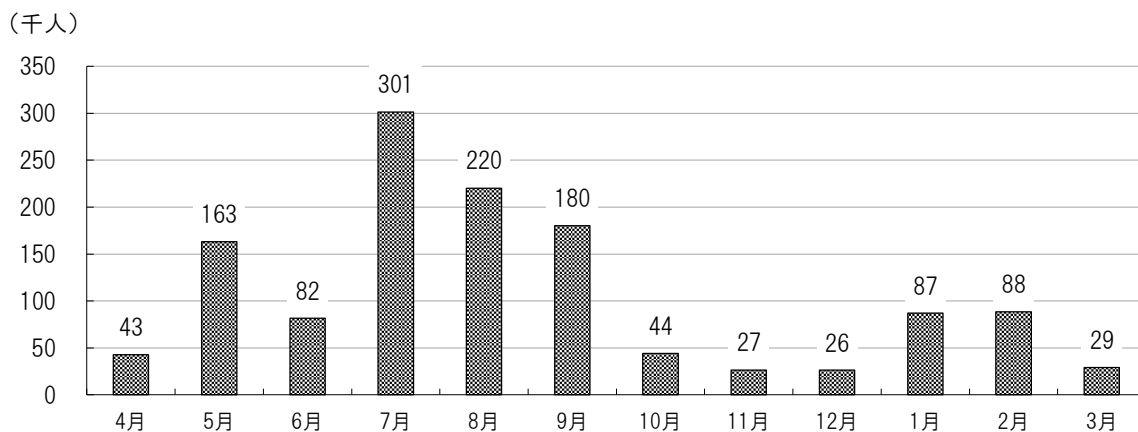
○時期としては夏季中心であり、7月から9月までの3ヶ月間で年間合計の半数を超えています。

### ■観光入込客数及び日帰り客の構成比の推移



資料：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

### ■月別観光入込客数(平成27年度)



資料：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」



■圏域ごとの観光客の状況（平成27年度）

【単位：千人、％】

圏域・区分	総数		内 訳				内 訳			
			道外客		道内客		日帰り客		宿泊客	
	圏域比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
北海道計	140,821	100.0	43,677	31.0	97,144	69.0	115,760	82.2	25,061	17.8
道央圏域計	77,933	55.3	20,600	26.4	57,333	73.6	65,048	83.5	12,885	16.5
空知総合振興局	11,711	15.0	822	7.0	10,888	93.0	11,217	95.8	494	4.2
岩見沢市	1,291	1.7	56	4.4	1,235	95.6	1,229	95.2	62	4.8
道南圏域計	11,946	8.5	5,444	45.6	6,502	54.4	8,341	69.8	3,605	30.2
道北圏域計	22,686	16.1	8,458	37.3	14,228	62.7	19,215	84.7	3,471	15.3
オホーツク圏域計	8,717	6.2	3,373	38.7	5,343	61.3	7,063	81.0	1,654	19.0
十勝圏域計	10,360	7.4	2,624	25.3	7,736	74.7	8,662	83.6	1,697	16.4
釧路・根室圏域計	9,181	6.5	3,178	34.6	6,003	65.4	7,431	80.9	1,750	19.1

資料：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

■道内市町村別観光入込客数（平成27年度）

【単位：千人、％】

順位	市町村名	総数		内 訳				内 訳			
				道外客		道内客		日帰り客		宿泊客	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
1	札幌市	13,653	4,731	34.7	8,921	65.3	7,504	55.0	6,149	45.0	
2	小樽市	7,949	2,592	32.6	5,358	67.4	7,249	91.2	700	8.8	
3	旭川市	5,530	2,569	46.5	2,961	53.5	4,926	89.1	605	10.9	
4	千歳市	5,100	1,512	29.7	3,587	70.3	4,869	95.5	230	4.5	
5	函館市	4,947	3,215	65.0	1,732	35.0	1,753	35.4	3,193	64.6	
6	釧路市	4,256	1,460	34.3	2,796	65.7	2,995	70.4	1,261	29.6	
7	登別市	3,913	1,943	49.7	1,970	50.3	2,639	67.4	1,274	32.6	
8	洞爺湖町	3,011	1,923	63.9	1,088	36.1	2,363	78.5	648	21.5	
9	喜茂別町	2,764	323	11.7	2,441	88.3	2,764	100.0	0	0.0	
10	帯広市	2,705	1,110	41.0	1,595	59.0	1,908	70.5	797	29.5	
30	岩見沢市	1,291	56	4.4	1,235	95.6	1,229	95.2	62	4.8	

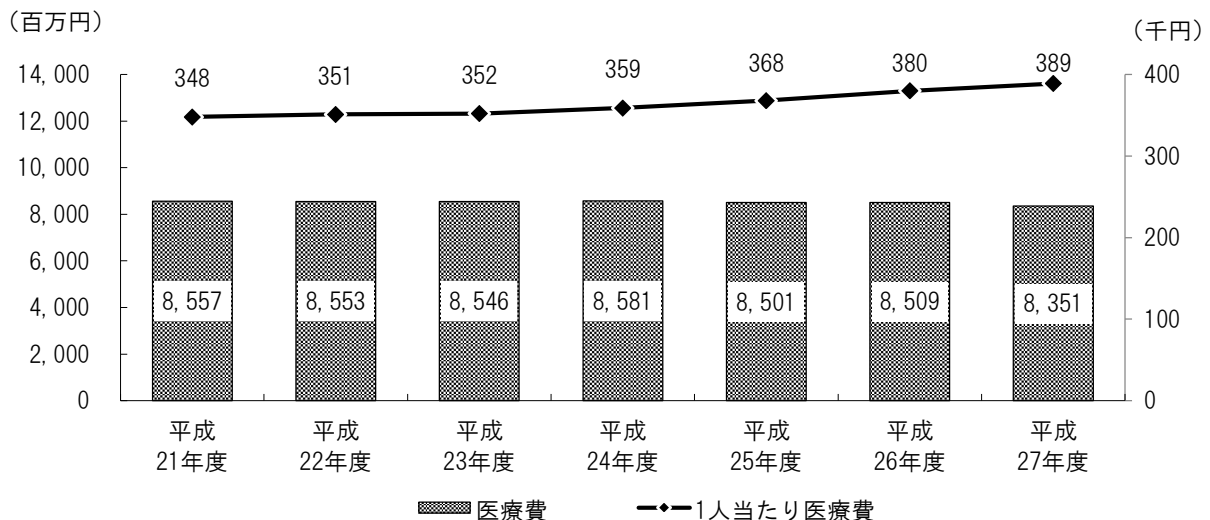
資料：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

## 4 保健・医療・福祉

### (1) 健康

○国民健康保険の医療費は、総額ではほぼ横ばいで推移していますが、被保険者数の減少によるところが大きく、一人当たりの医療費は増加傾向にあります。

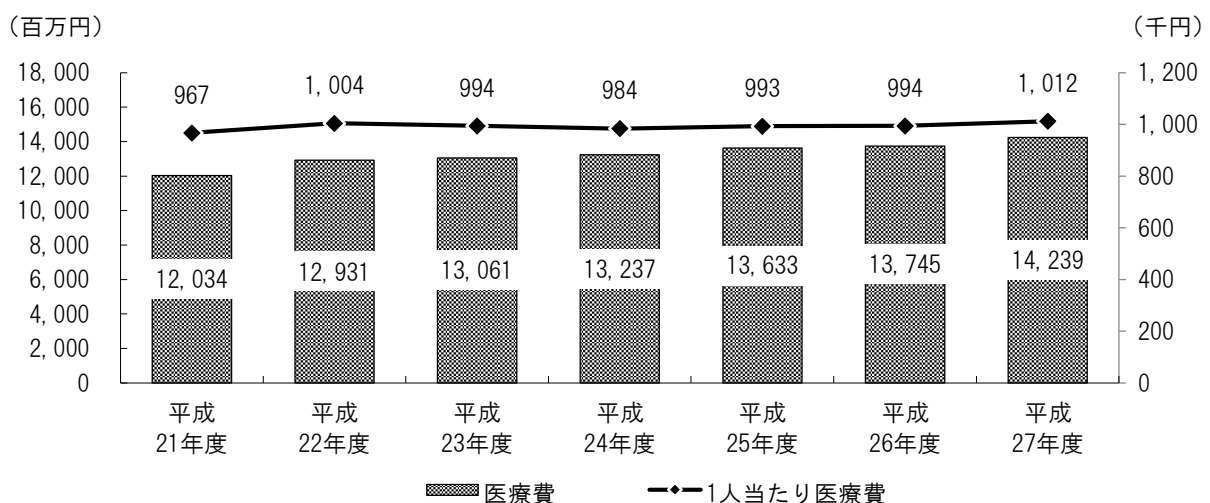
■国民健康保険の医療費の推移



資料：岩見沢市資料

○後期高齢者の1人当たりの医療費は、約100万円にも上り、他の世代に比べ高額となっています。また、高齢化に伴う被保険者の増加により、医療費総額も毎年増加を続けています。

■後期高齢者医療の医療費の推移



資料：岩見沢市資料

○北海道の1人当たり医療費は、市町村国保、後期高齢者医療ともに全国平均よりも1割以上高く、本市も同様に高い水準にあります。

■比較対象都市等の1人当たり医療費

市町村国保（平成26年度）

自治体等	市町村国保 1人当たり医療費 (円)
全 国	330,628
北 海 道	368,421
小 樽 市	452,276
室 蘭 市	439,339
北 広 島 市	399,151
恵 庭 市	388,735
岩 見 沢 市	379,731
江 別 市	368,935
石 狩 市	363,788
千 歳 市	356,958
北 見 市	341,487

資料：厚生労働省「国民健康保険事業年報」

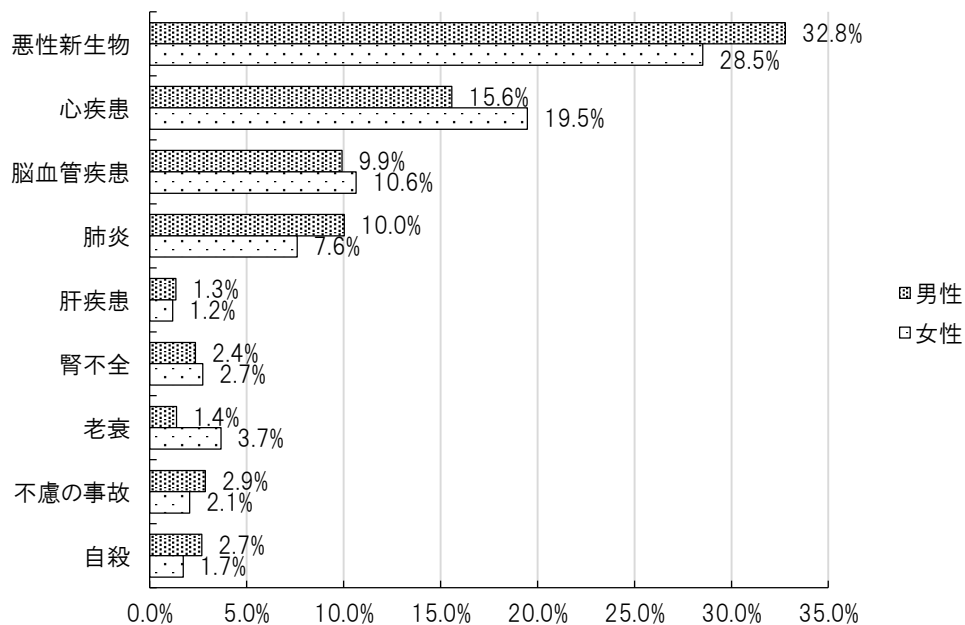
後期高齢者医療（平成25年度）

自治体等	後期高齢者医療 1人当たり医療費 (円)
全 国	929,573
北 海 道	1,091,704
北 広 島 市	1,209,760
室 蘭 市	1,198,817
石 狩 市	1,179,886
小 樽 市	1,122,477
千 歳 市	1,116,912
江 別 市	1,087,402
恵 庭 市	1,069,512
岩 見 沢 市	992,799
北 見 市	930,513

資料：北海道後期高齢者医療広域連合  
「北海道の後期高齢者医療」

○主要死因別死亡数の構成比をみると、3大生活習慣病である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が占める割合は、男性が58.3%、女性が58.6%と全体の6割近くを占めています。

■主要死因別死亡数の構成比（平成20年～平成24年）



資料：厚生労働省「平成20年～平成24年人口動態保健所・市町村別統計」

- 3大生活習慣病を主要死因とする標準化死亡比をみると、本市では、男性では心疾患、女性では悪性新生物の数値が高くなっています。
- 比較対象都市の中では、男性では、脳血管疾患で高位となっており、全国、道と比べても高い数値となっています。女性では、比較対象都市の中ではいずれも中位となっていますが、悪性心疾患、心疾患では全国、道より高い数値となっています。

■比較対象都市等の主要死因別標準化死亡比（平成20年～平成24年）

	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	107.7	108.0	103.1	102.6	93.4	90.9
小 樽 市	117.0	111.8	138.8	140.5	100.9	93.3
室 蘭 市	112.3	117.2	137.5	125.1	141.4	133.5
北 見 市	104.0	100.1	96.1	90.7	93.4	93.8
岩 見 沢 市	100.5	111.8	111.1	108.0	104.4	92.5
江 別 市	104.7	108.5	85.0	93.7	91.2	86.8
千 歳 市	101.4	118.1	104.0	110.7	93.4	82.6
恵 庭 市	91.1	98.1	106.6	115.9	70.5	66.6
北 広 島 市	99.4	103.8	84.3	91.0	71.1	79.6
石 狩 市	105.5	102.1	77.5	94.9	89.8	104.6

資料：厚生労働省「平成20年～平成24年人口動態保健所・市町村別統計」

※標準化死亡比：高齢者の多い地域の方が一般的に死亡率は高くなることから、異なった年齢構成の地域間の死亡率を比較可能にするための指標として用いられる。全国平均を100として算出し、標準化死亡比が100以上の場合は全国平均より死亡率が高く、100以下の場合は死亡率が低いことを意味する。

- 本市の国保の特定健康診査の受診率は、全国や全道平均を下回っています。

■市町村国保特定健康診査受診率（平成26年度）

自治体等	受診率
全国	35.3%
北海道	26.1%
岩見沢市	21.2%

資料：公益社団法人国民健康保険中央会

「市町村国保 特定健康診査・特定保健指導 実施状況概況」

## (2) 地域医療

○本市の医療施設数（人口 10 万対）をみると、比較対象都市の中では病院は中位ですが、一般診療所と歯科診療所については上位にあります。また、病床数は比較対象都市の中でも上位にあり、全国、全道よりも上回っています。

■比較対象都市等の医療施設数・病床数（平成 26 年）

【単位：施設・床】

	医療施設数						病床数			
	病 院		一般診療所		歯科診療所		病 院		一般診療所	
	施設数	人口 10万人対	施設数	人口 10万人対	施設数	人口 10万人対	施設数	人口 10万人対	施設数	人口 10万人対
全 国	8,493	6.7	100,461	79.1	68,592	54.0	1,568,261	1,234.0	112,364	88.4
北 海 道	569	10.6	3,377	62.5	2,978	55.1	96,574	1,788.4	6,950	128.7
小 樽 市	17	13.8	83	67.2	79	63.9	3,243	2,624.8	292	236.3
室 蘭 市	7	7.8	55	61.7	46	51.6	2,158	2,419.0	67	75.1
北 見 市	14	11.5	67	55.0	54	44.3	1,957	1,605.7	228	187.1
岩 見 沢 市	8	9.3	57	66.4	51	59.4	1,742	2,030.1	234	272.7
江 別 市	6	4.9	64	52.8	65	53.6	1,174	968.0	80	66.0
千 歳 市	8	8.5	53	56.1	46	48.7	1,009	1,068.1	113	119.6
恵 庭 市	7	10.2	32	46.4	35	50.8	1,099	1,593.7	84	121.8
北 広 島 市	5	8.4	34	57.4	32	54.0	682	1,151.4	74	124.9
石 狩 市	6	10.4	29	50.3	24	41.6	663	1,150.2	86	149.2

資料：北海道「北海道保健統計年報」（平成 26 年 10 月 1 日現在）

■比較対象都市等の医師・歯科医師数（平成 26 年）

【単位：人】

	医 師		歯 科 医 師	
	医師数	人口 10万人対	歯科医師数	人口 10万人対
全 国	311,205	244.9	103,972	81.8
北 海 道	12,987	240.5	4,483	83.0
小 樽 市	301	243.6	106	85.8
室 蘭 市	284	318.3	63	70.6
北 見 市	223	183.0	75	61.5
岩 見 沢 市	177	206.3	62	72.3
江 別 市	173	142.6	85	70.1
千 歳 市	124	131.3	61	64.6
恵 庭 市	122	176.9	47	68.2
北 広 島 市	63	106.4	48	81.0
石 狩 市	57	98.9	33	57.3

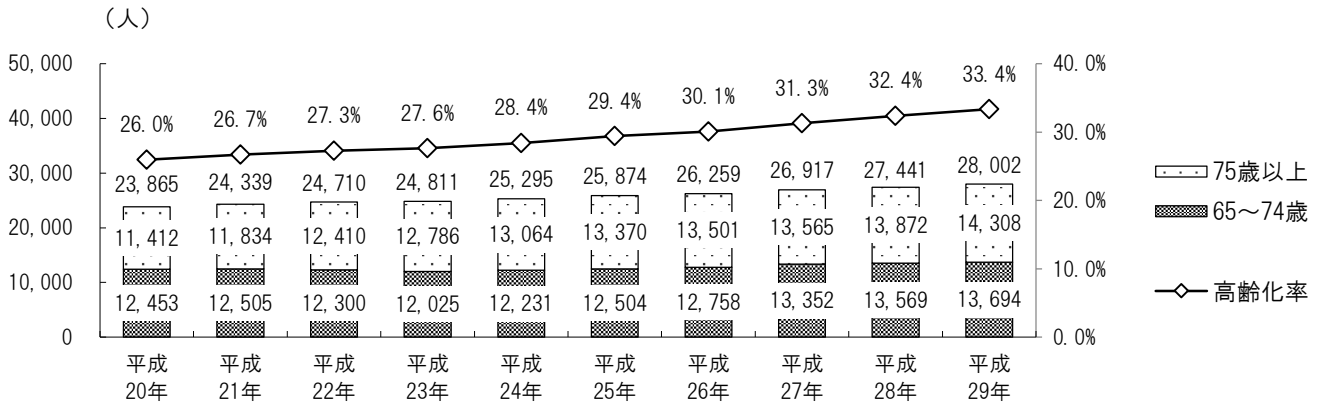
資料：北海道「北海道保健統計年報」（平成 26 年 10 月 1 日現在）

### (3) 高齢者

○本市の65歳以上の高齢者人口及び総人口に占める割合（高齢化率）は一貫して増加しており、約3人に1人が高齢者という状況にあります。

○特に、75歳以上（後期高齢者）人口は、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となる平成37（2025）年に向けて、増加を続けるものと見込まれています。

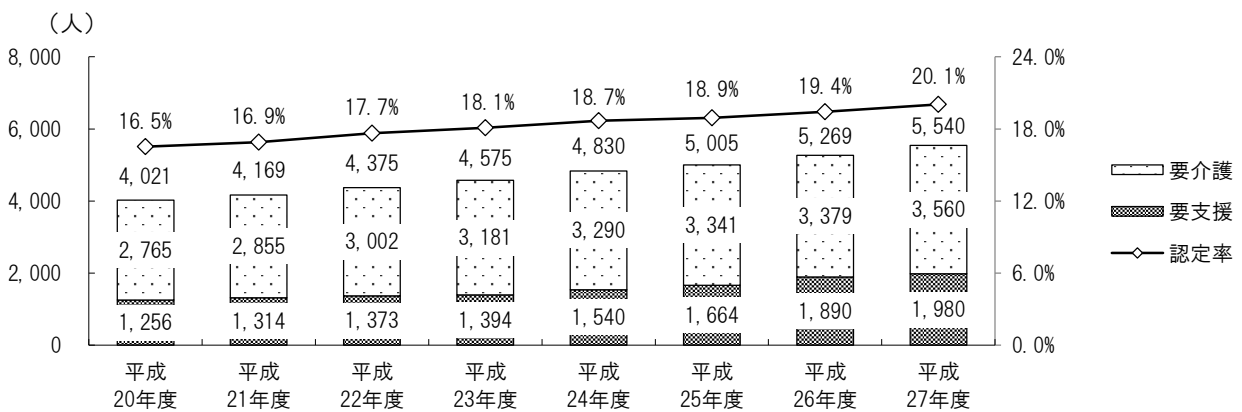
#### ■65歳以上人口及び高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（平成25年までは3月末現在、平成26年以降は1月1日現在）

○介護保険の要支援・要介護認定者数は年々増加してきており、平成27年度末現在で5,540人となっています。第一号被保険者数に対する要支援・要介護認定者数（認定率）も上昇してきており、平成27年度末現在では20.1%となっています。

#### ■要支援・要介護認定者数及び認定率の推移



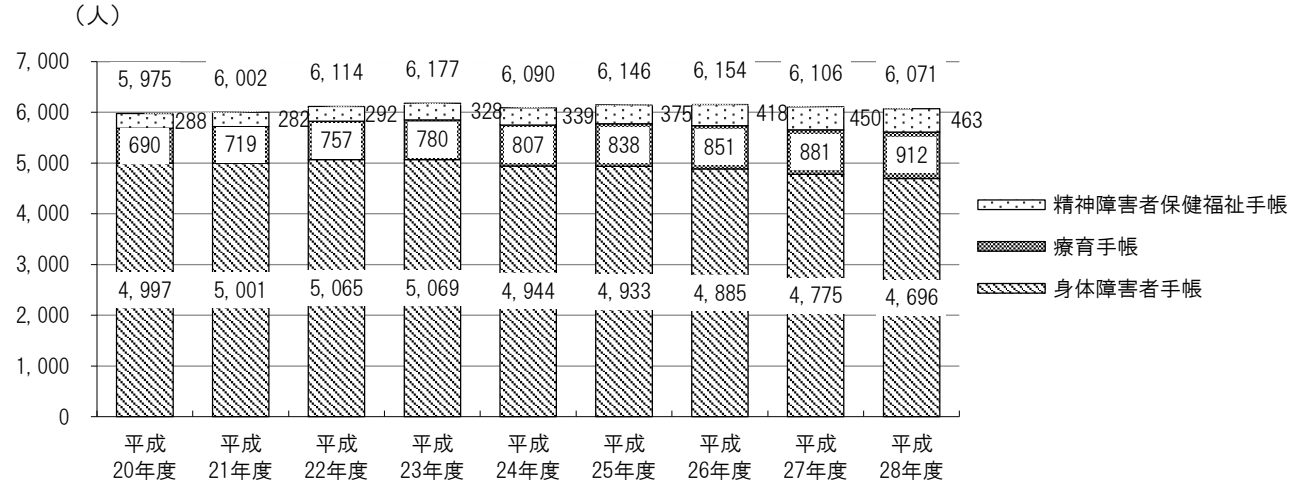
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要支援1	295	470	604	658	771	857	1,017	1,053
要支援2	961	844	769	736	769	807	873	927
要介護1	734	818	917	1,040	1,076	1,142	1,160	1,255
要介護2	680	651	687	712	824	833	848	851
要介護3	548	527	525	504	508	526	551	590
要介護4	468	492	508	545	527	493	480	515
要介護5	335	367	365	380	355	347	340	349
合計	4,021	4,169	4,375	4,575	4,830	5,005	5,269	5,540

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年度末現在）

## (4) 障がい者

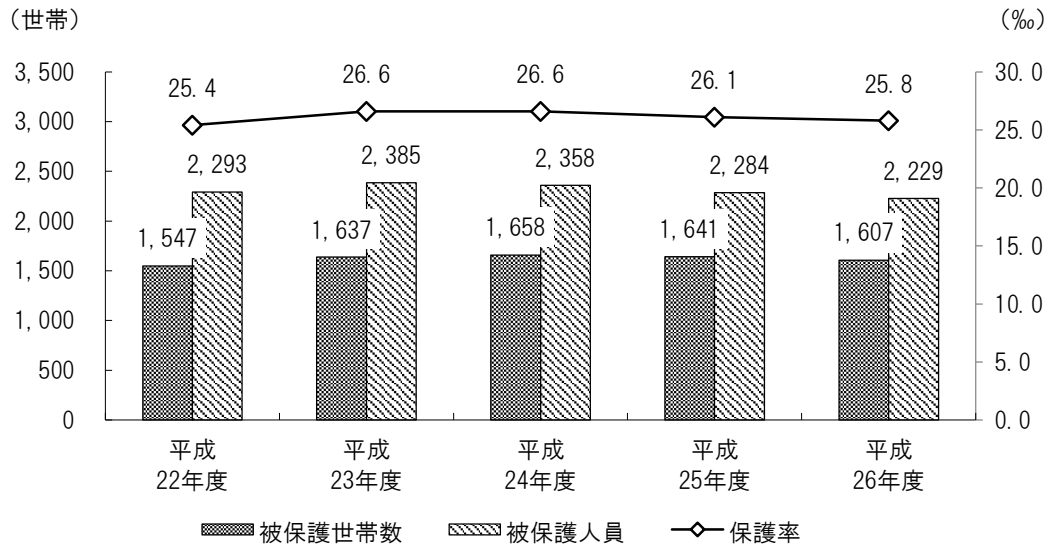
○障がい者手帳所持者数の推移をみると、身体障害者手帳の所持者数は減少してきていますが、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、増加してきています。

### ■障がい者手帳所持者数の推移



## (5) 生活保護

### ■被保護世帯数、被保護人員及び保護率の推移

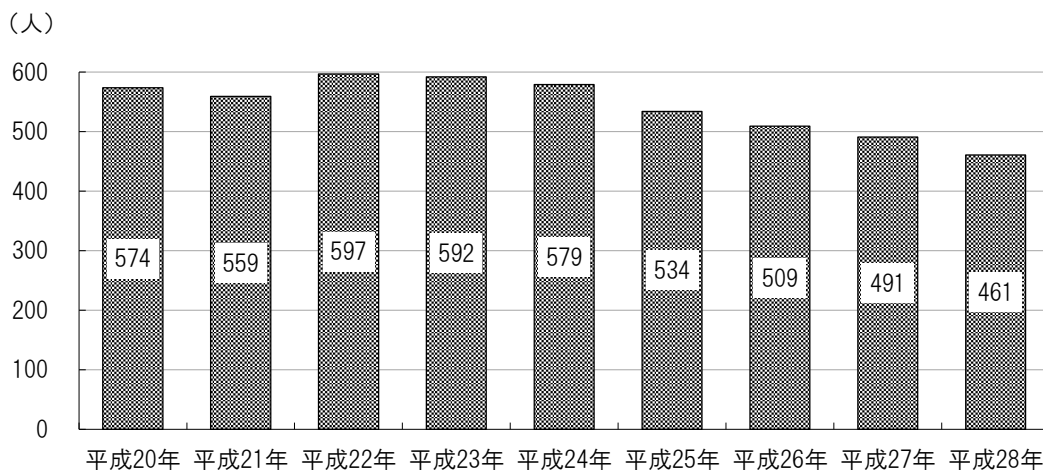


## (6) 子ども・子育て

○本市の出生数について、平成23年以降は前年を下回る状況が続いており、平成28年の出生数は直近のピーク（平成22年）と比べて136人少なくなっています。

○本市の合計特殊出生率1.27は北海道と同水準ですが、全国平均を下回っています。

### ■出生数の推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
※平成28年は「岩見沢市資料（速報値）」

### ■比較対象都市等の合計特殊出生率

全国・北海道（平成24年）

本市・比較対象都市（平成20-24年）

自治体等	合計特殊出生率
全 国	1.41
北 海 道	1.26
千 歳 市	1.50
室 蘭 市	1.45
北 見 市	1.36
恵 庭 市	1.29
岩 見 沢 市	1.27
石 狩 市	1.21
小 樽 市	1.14
北 広 島 市	1.09
江 別 市	1.06

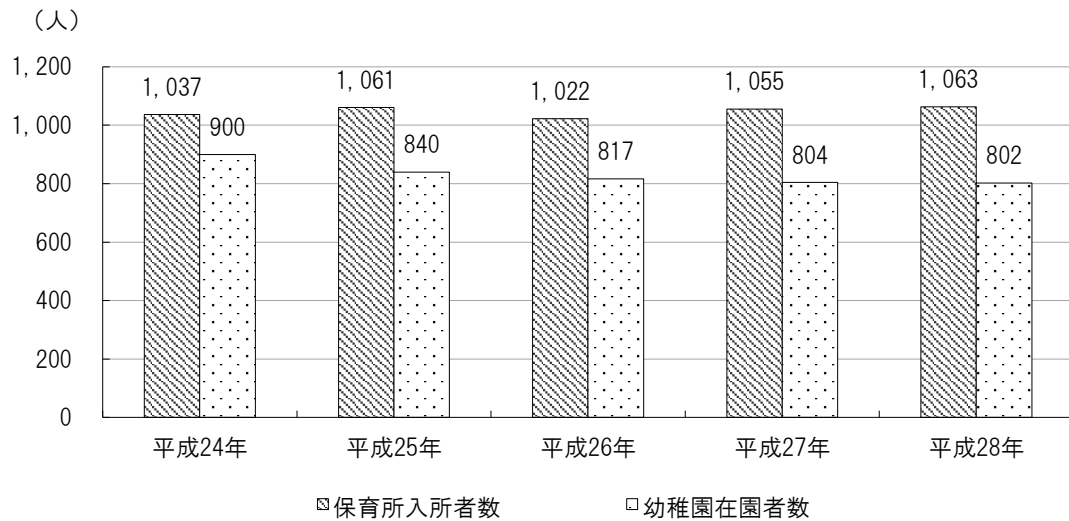
資料：厚生労働省「平成20～24年 人口動態保健所・市区町村別統計」  
厚生労働省「人口動態統計」（平成24年）



○認可保育所の入所者数は、入所定員 1,020 人に対し、毎年 1,020 人から 1,070 人程度で推移しています。

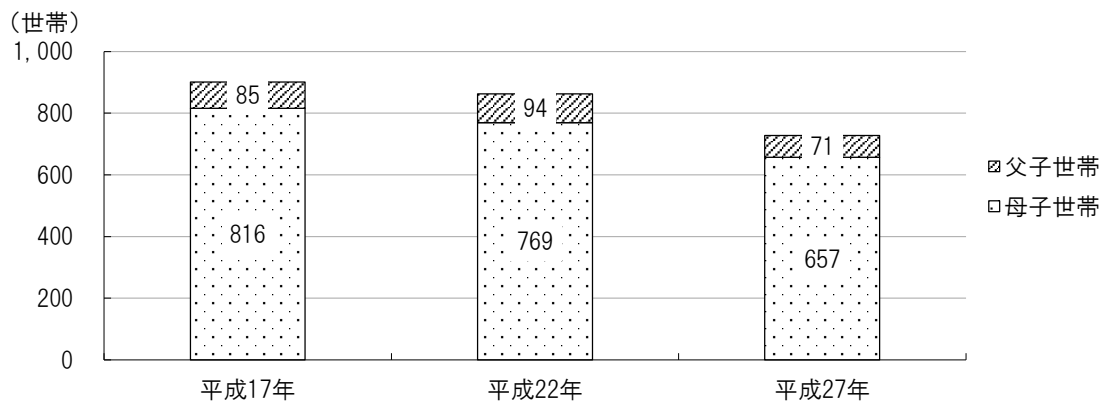
○幼稚園在籍者数は、平成 24 年から平成 26 年にかけて減少し、以後は概ね横ばいで推移しています。

### ■認可保育所入所者数、幼稚園在園者数の推移



資料：岩見沢市資料（各年 5 月 1 日現在）  
文部科学省「学校基本調査」（各年 5 月 1 日現在）

### ■ひとり親世帯数の推移



※ひとり親・・・未婚、死別又は離別の女(男)親と、その未婚の 20 歳未満の子供のみから成る一般世帯をいいます。  
資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

### ■ひとり親世帯の一般世帯に占める割合

	母子世帯			父子世帯		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
全 国	1.53%	1.46%	1.42%	0.19%	0.17%	0.16%
北 海 道	2.06%	2.07%	1.87%	0.21%	0.21%	0.18%
岩 見 沢 市	2.29%	2.10%	1.82%	0.24%	0.26%	0.20%

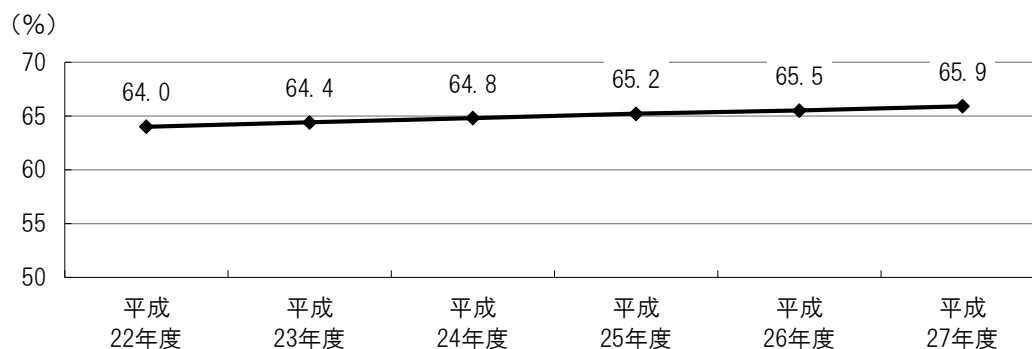
資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

## 5 社会基盤・環境

### (1) 道路

○本市の市道舗装率は、平成27年度末現在で65.9%となっており、平成22年度から5年間で1.9ポイント上昇しています。

#### ■市道舗装率の推移

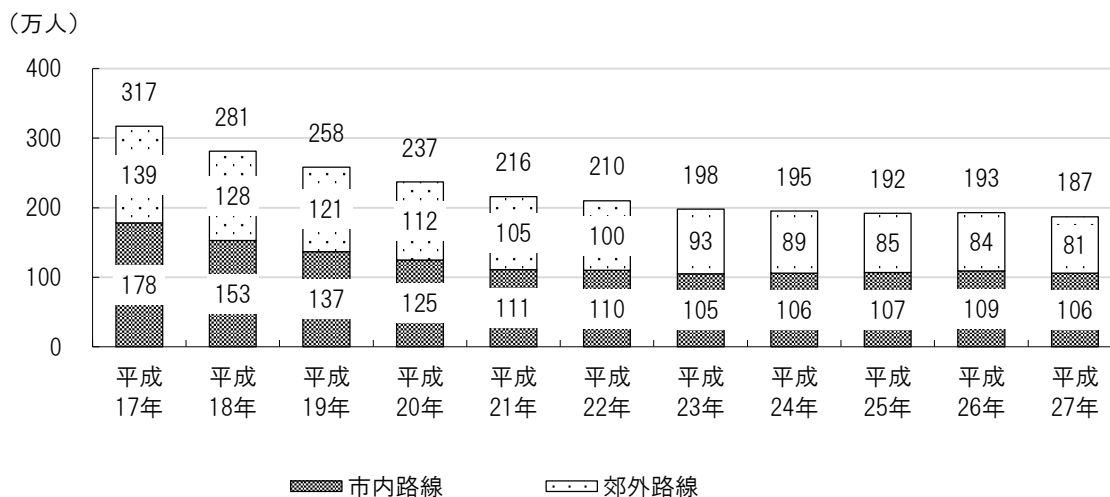


資料：岩見沢市資料（各年度末現在）

### (2) 公共交通

○市内を運行する路線バス（中央バス）の利用者数は、平成18年度の路線再編以降、大きく減少しました。近年においても、市内路線は概ね横ばいにあるものの、郊外路線の利用者数の減少が続いています。

#### ■市内を運行する路線バス（中央バス）の利用者数の推移



資料：北海道中央バス（株）提供

○岩見沢駅の乗降客数は毎年9千人台で、平成26年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。道内主要駅と比較すると、札幌への通勤・通学圏内にある主要駅より低いものの、その他の主要都市に対しては、より多くの利用がなされています。

■道内主要駅 一日当たり乗降客数の推移

【単位：人/日】

自治体名	駅名	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	増減率 (平成22- 26年度)
岩見沢市	岩見沢駅	9,380	9,580	9,442	9,378	9,084	△ 3.2%
江別市	野幌駅	12,880	13,200	13,382	13,576	13,254	2.9%
小樽市	小樽駅	17,020	16,960	17,384	17,572	17,576	3.3%
北広島市	北広島駅	15,920	15,920	15,674	15,468	15,274	△ 4.1%
恵庭市	恵庭駅	12,260	13,100	13,480	13,874	14,066	14.7%
千歳市	千歳駅	15,680	16,120	16,508	16,792	17,062	8.8%
砂川市	砂川駅	1,460	1,460	1,474	1,442	1,356	△ 7.1%
滝川市	滝川駅	3,240	3,420	3,422	3,362	3,338	3.0%
函館市	函館駅	6,220	6,140	6,316	6,154	6,008	△ 3.4%
旭川市	旭川駅	9,540	9,640	9,728	9,488	8,860	△ 7.1%
釧路市	釧路駅	3,040	3,120	3,142	2,960	2,850	△ 6.3%
帯広市	帯広駅	4,160	4,120	4,108	3,896	3,854	△ 7.4%
北見市	北見駅	1,620	1,660	1,716	1,646	1,562	△ 3.6%

資料：国土交通省「都市計画現況調査」

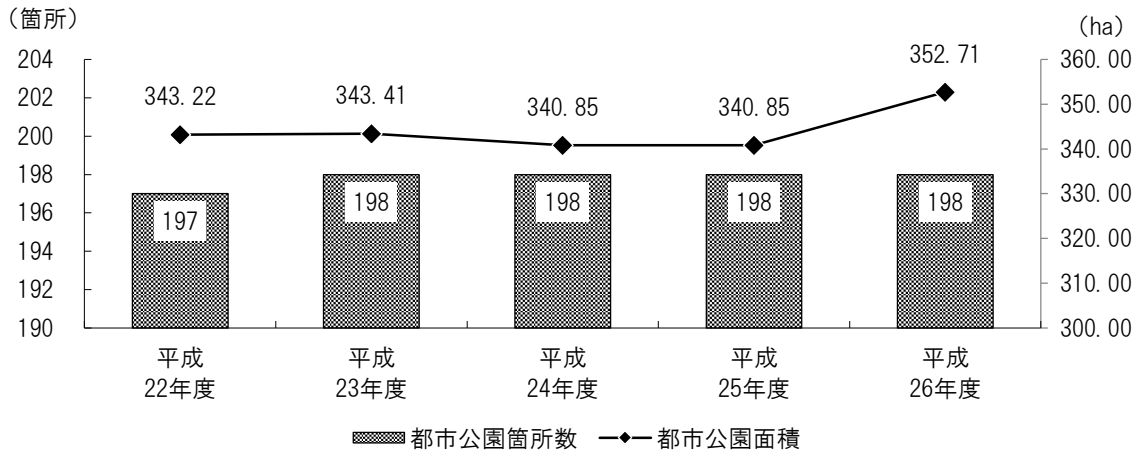
### (3) 公園

○本市の公園数は、平成 26 年度末現在で 211 箇所、総面積は 393.90ha となっています。

○分類別にみると、都市公園が 198 箇所 (352.71ha)、農山村地域公園が 13 箇所 (41.23ha) となっています。

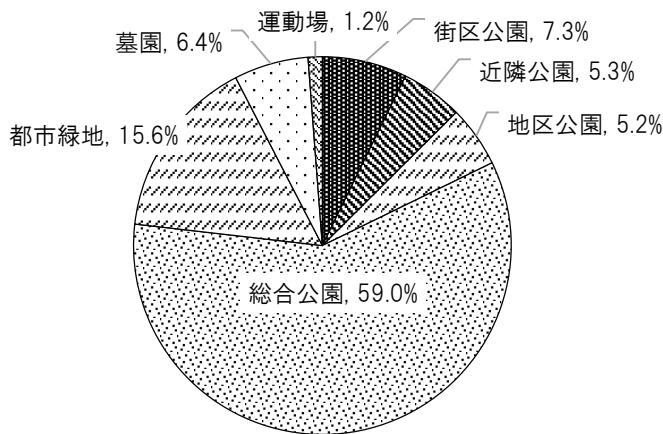
○本市の市民 1 人当たり都市公園面積 41.3 m<sup>2</sup>は、全国平均の 4 倍以上、北海道全体と比べても高い水準となっています。

#### ■都市公園箇所数及び面積の推移



資料：岩見沢市資料（各年度末現在）

#### ■都市公園面積割合（平成 26 年度）



資料：岩見沢市資料（平成 26 年度末現在）

#### ■市民 1 人当たり都市公園面積（平成 26 年度）

区分	市民 1 人当たり 都市公園面積 (m <sup>2</sup> )
全国	10.2
北海道（札幌市を除く）	38.0
札幌市	12.5
岩見沢市	41.3

資料：国土交通省「都道府県別一人当たり都市公園等整備現況」  
岩見沢市資料（平成 26 年度末現在）

## (4) 住宅

- 持ち家に居住する者は、平成 27 年に 23,586 世帯となっており、全体の 65.4%を占めています。地区別にみると、北村地区や栗沢地区では持ち家の割合が 8 割を超え、民間借家の割合が低くなっています。
- 空き家数は、平成 20 年から平成 25 年にかけて 20 戸の増加に留まっていますが、一戸建に限ると 200 戸の増加となります。
- 比較対象都市の中では、持ち家率は上位にあり、住宅数に対する空き家数（空き家率）は比較的低位となっています。

### ■居住住宅別世帯割合（平成 27 年）

【単位：％】

	持ち家	公的借家	民営借家	給与住宅	間借り	住宅以外	計
岩見沢市	65.4%	6.4%	23.7%	2.3%	1.4%	0.9%	100.0%
岩見沢地区	63.9%	6.1%	25.5%	2.3%	1.4%	0.8%	100.0%
北村地区	83.3%	12.2%	0.9%	1.6%	1.2%	0.9%	100.0%
栗沢地区	81.6%	7.4%	5.2%	2.9%	1.6%	1.3%	100.0%

資料：総務省「国勢調査」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

### ■空き家数・率の推移

【単位：戸】

	総住宅数 (A)	空き家数 (B)	空き家数		空き家率 (B/A)
			一戸建	長屋建・共同 住宅・その他	
平成20年	41,480	4,610	1,750	2,860	11.1%
平成25年	41,700	4,630	1,950	2,680	11.1%

資料：総務省「住宅・土地統計調査」（各年 10 月 1 日現在）

### ■比較対象都市等の持ち家率（平成 27 年）

自治体等	持ち家率 (%)
全 国	61.3
北 海 道	56.0
石 狩 市	77.4
北 広 島 市	73.5
岩 見 沢 市	65.4
小 樽 市	65.3
江 別 市	64.9
恵 庭 市	62.7
北 見 市	57.9
室 蘭 市	54.2
千 歳 市	53.6

資料：総務省「国勢調査」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

### ■比較対象都市等の空き家率（平成 25 年）

自治体等	空き家率 (%)
全 国	13.5
北 海 道	14.1
小 樽 市	17.2
千 歳 市	16.2
室 蘭 市	14.9
北 見 市	13.6
江 別 市	11.7
岩 見 沢 市	11.1
恵 庭 市	9.7
石 狩 市	9.2
北 広 島 市	8.1

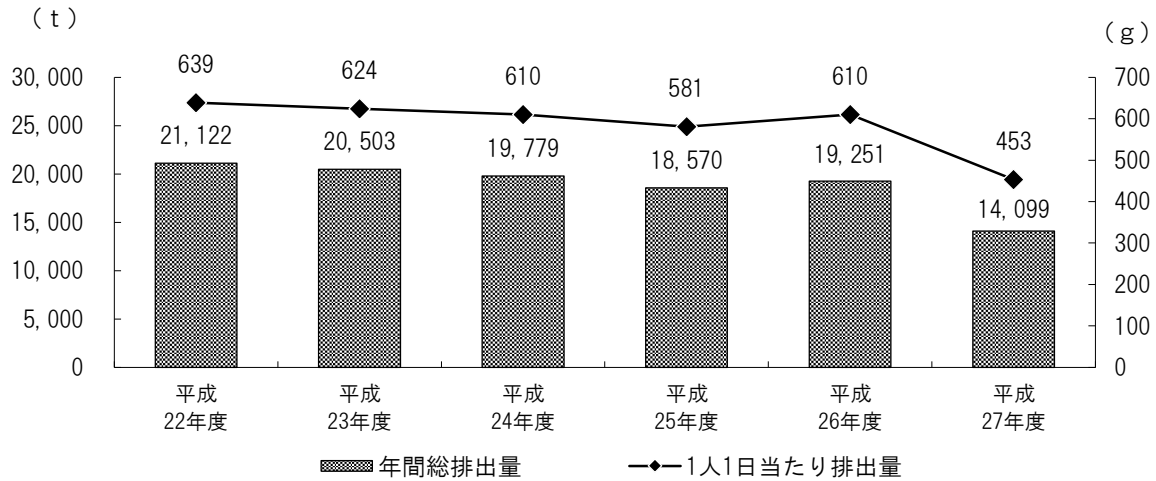
資料：総務省「住宅・土地統計調査」（平成 25 年 10 月 1 日現在）

## (5) ごみ処理

### ①家庭系一般ごみ排出量

○家庭系一般ごみ（家庭系ごみのうち資源ごみを除いたもの）の排出量は、有料化前の駆け込みのあった平成26年度を除き、総量、1人1日当たりの排出量とも減少を続けています。特に平成27年度は、4月からのごみ処理の有料化により、大きく減少しました。

■家庭系一般ごみの総排出量及び1人1日当たり排出量の推移

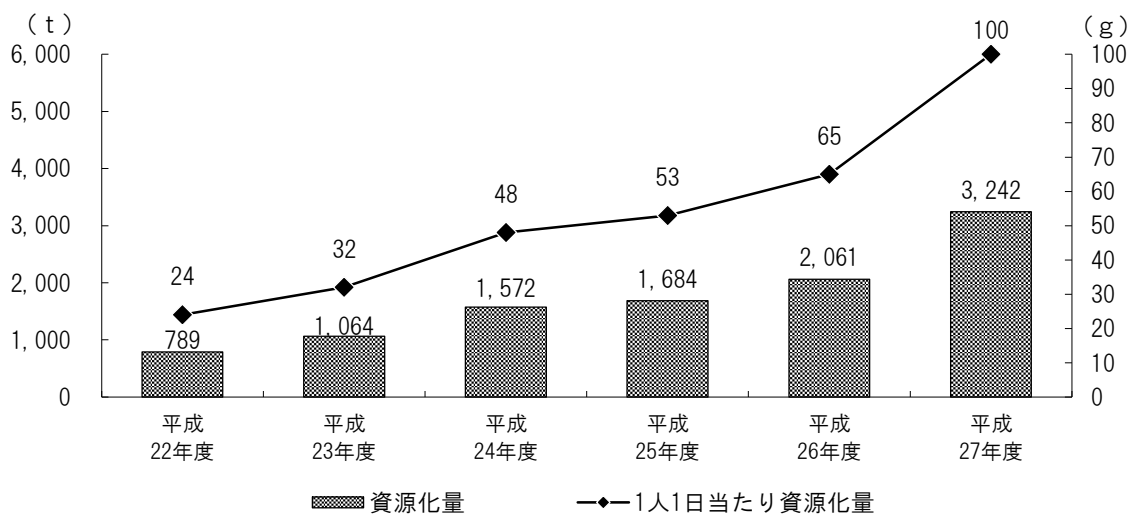


資料：岩見沢市資料

### ②家庭系資源ごみ排出量

○家庭系資源ごみの排出量は、全市域でのプラスチック製容器包装の分別収集（平成23年12月）や紙類・危険ごみの分別収集、びん、缶、ペットボトルのごみステーションでの収集（ともに平成26年3月）等の取り組みもあり、増加を続けています。

■資源化量の推移



資料：岩見沢市資料

## (6) 水道・下水道

### ■水道普及率の推移

【単位：％】

	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
水道普及率	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

資料：岩見沢市資料（各年度末現在）

### ■下水道普及率及び水洗化率（処理区域内）の推移

【単位：％】

	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
下水道普及率	88.4	88.6	88.8	89.0	89.3	89.5
水洗化率	98.0	98.0	98.1	98.1	98.2	98.3

資料：岩見沢市資料（各年度末現在）

## (7) 火災・救急・交通事故・犯罪

### ■火災・救急搬送・交通事故・犯罪の状況

区 分		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
火災	発生件数（件）	32	24	33	23	34
	死傷者数（人）	7	3	6	3	6
救急搬送	出動件数（件）	3,870	3,551	3,778	3,687	3,807
	搬送人員（人）	3,619	3,325	3,491	3,420	3,537
交通事故	人身事故発生件数（件）	195	130	142	114	134
	死者数（人）	3	4	3	5	5
犯罪	刑法犯総数（件）	761	690	726	487	441

資料：岩見沢市資料

北海道警察「市町村別犯罪発生概況」

## 6 教育・文化

### (1) 学校教育

#### ①小・中・高等学校等

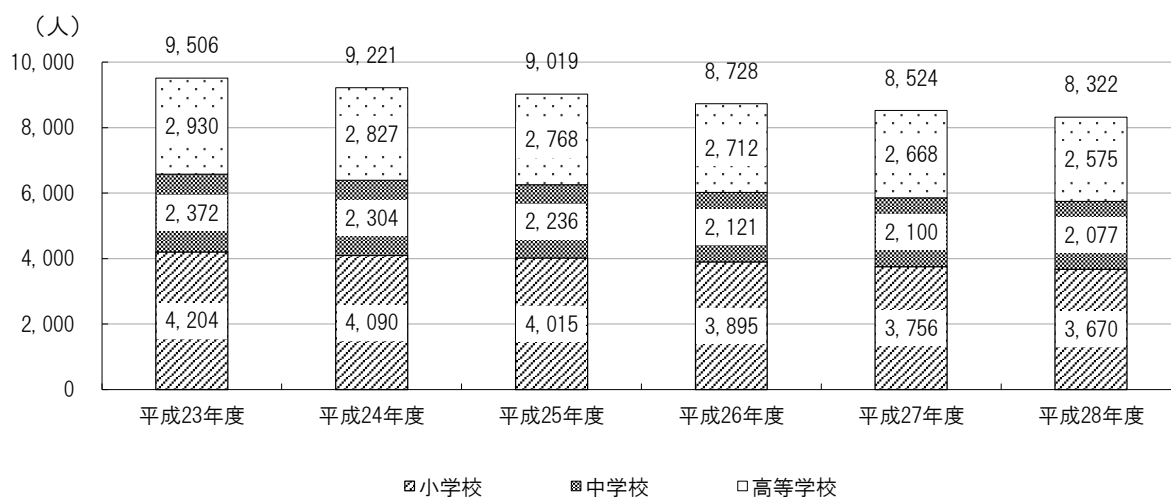
○児童・生徒数は年々減少してきており、平成28年度には、平成23年度から1,184人(12.5%)減少し、8,322人となっています。

#### ■小・中・高等学校等の状況（平成28年度）

区分	学校数 (校)	学級数 (学級)	在籍児童 生徒数 (人)		教職員数(人)			
			うち複式 学級数	うち特別 支援学級数	教員数 (本務者)	教員数 (兼務者)	職員数 (本務者)	
小学校	15	175	4	38	3,670	283	7	49
中学校	10	94	1	26	2,077	197	11	30
高等学校	4	71	-	-	2,575	205	24	41
特別支援学校	1	11	-	-	70	48	-	39
専修学校	3	-	-	-	405	31	209	6

資料：文部科学省「学校基本調査」（平成28年5月1日現在）

#### ■小・中・高等学校等の児童生徒数の推移



資料：文部科学省「学校基本調査」（各年5月1日現在）



## ②北海道教育大学岩見沢校

- 市内にある大学は、国立大学法人北海道教育大学岩見沢校1校のみとなっています。
- 同校には教育学部芸術・スポーツ文化学科が設置されており、「芸術・スポーツビジネス専攻」「音楽文化専攻」「美術文化専攻」「スポーツ文化専攻」といった4つの専攻に分かれています。

### ■北海道教育大学岩見沢校（教育学部）の学生数（平成28年度）

区分	学生数 (人)	区分	学生数 (人)
芸術・スポーツ文化学科（1～3年生）	567	芸術課程（4年生）	138
芸術・スポーツビジネス専攻	77	音楽コース	44
音楽文化専攻	133	美術コース	67
美術文化専攻	174	芸術文化コース	27
スポーツ文化専攻	183	スポーツ教育課程（4年生）	67
合		計	772

資料：文部科学省「学校基本調査」（平成28年5月1日現在）

## （2）社会教育・文化施設

### ①社会教育・芸術・文化施設

#### ■主な社会教育・芸術・文化施設の利用状況の推移

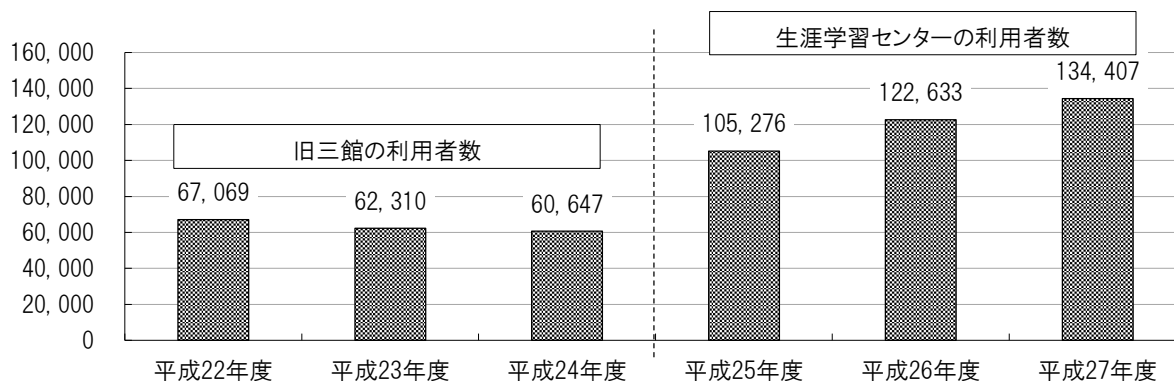
【単位：人】

施設名	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生涯学習センター	利用者数	-	-	105,276	122,633	134,407
市民会館	利用者数	65,648	59,451	87,228	84,484	89,383
文化センター	利用者数	109,702	98,073	115,979	92,783	92,616
北村環境改善センター	利用者数	11,380	8,763	9,261	12,285	11,376
栗沢文化センター	利用者数	22,299	22,286	23,852	22,549	21,247
絵画ホール・松島正幸記念館	入館者数	1,766	1,723	2,061	1,657	2,747
郷土科学館	来館者数	5,201	5,358	4,840	4,694	3,349

資料：岩見沢市資料

#### ■旧三館及び生涯学習センターの利用者数の推移

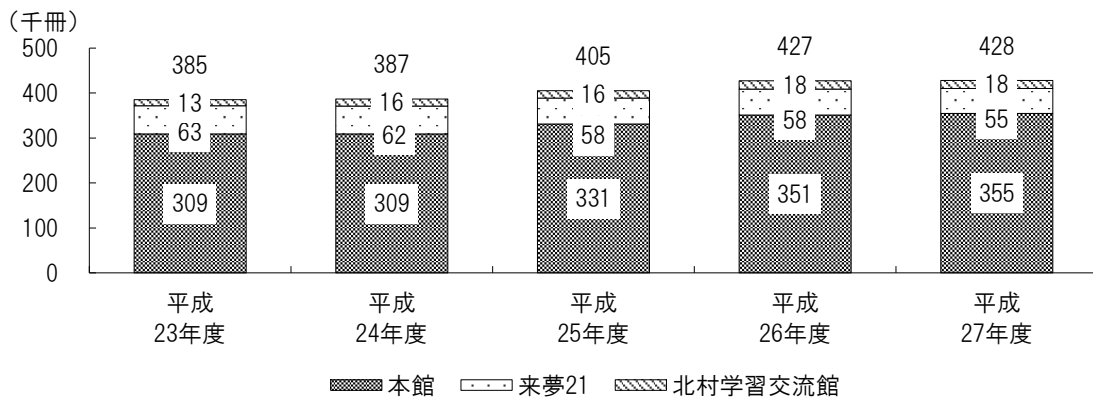
※旧三館 … 勤労青少年ホーム・空知婦人会館・働く婦人の家（全て平成25年4月1日供用廃止）



資料：岩見沢市資料

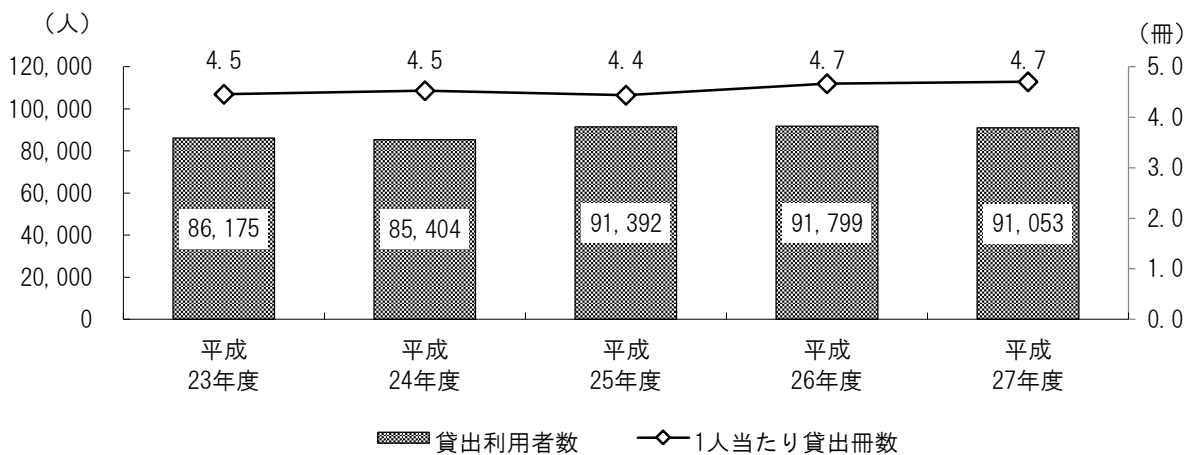
## ②図書館

### ■図書貸出冊数の推移



資料：岩見沢市資料

### ■貸出利用者数・1人当たりの図書貸出冊数の推移



資料：岩見沢市資料

## ③社会体育施設

### ■主な社会体育施設の利用状況の推移

【単位：人】

施設名	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総合体育館	利用者数	63,995	63,129	62,012	66,011	62,315
スポーツセンター	利用者数	45,673	47,720	47,015	44,669	49,747
岩見沢トレーニングセンター	利用者数	34,064	33,725	33,864	37,606	44,497
岩見沢市野球場	利用者数	11,858	20,121	21,322	26,256	28,204
岩見沢市温水プール	利用者数	58,478	60,038	57,956	56,812	58,057
東山公園陸上競技場	利用者数	30,124	28,792	26,725	26,657	26,906
北村多目的体育館	利用者数	22,550	21,482	20,318	20,782	20,651
土里夢公園パークゴルフ場	利用者数	38,092	34,395	31,919	26,009	29,813
栗沢 B&G 海洋センター	利用者数	29,097	30,514	31,857	31,051	31,521

資料：岩見沢市資料

# 7 行財政運営

## (1) 決算の状況

○普通会計における決算の状況をみると、住民生活に直結する除排雪事業の充実、ごみ処分場や学校の耐震化などの大型プロジェクトに取り組んだことに伴い、歳出規模は膨らみましたが、市税や交付税などの一般財源の確保、国の経済対策関連交付金の積極的な活用等により歳入を確保し、合併後10年間での累積収支は約26億円となっています。

### ■普通会計決算額の推移

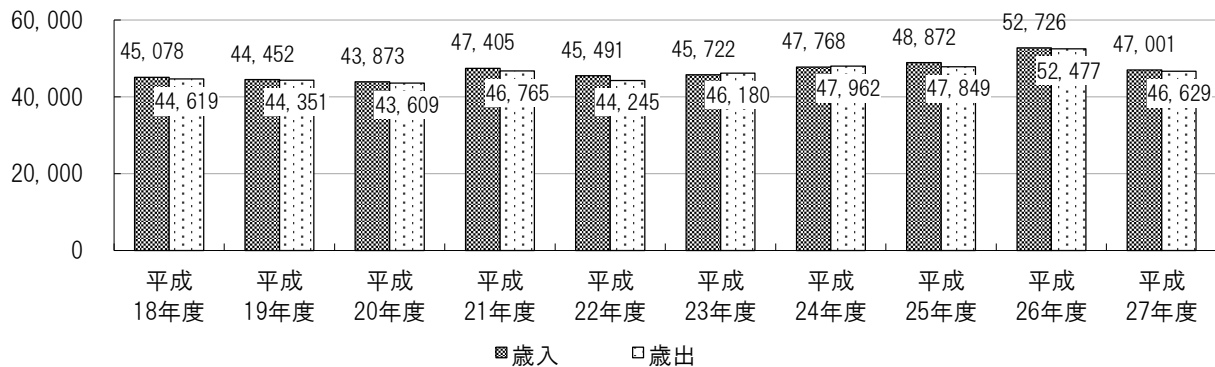
【単位：百万円】

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歳入(A)	45,078	44,452	43,873	47,405	45,491	45,722	47,768	48,872	52,726	47,001
歳出(B)	44,619	44,351	43,609	46,765	44,245	46,180	47,962	47,849	52,477	46,629
翌年度繰越財源(C)	50	19	47	123	55	64	180	476	45	1
実質単年度収支(A-B-C)	409	82	217	517	1,191	△522	△374	547	204	371
累積収支(合併後10年間)	409	491	708	1,225	2,416	1,894	1,520	2,067	2,271	2,642
累積収支(新市建設計画)	△46	△439	△887	△1,076	△781	△369	31	440	875	1,251

資料：岩見沢市資料

### ■歳入・歳出の推移

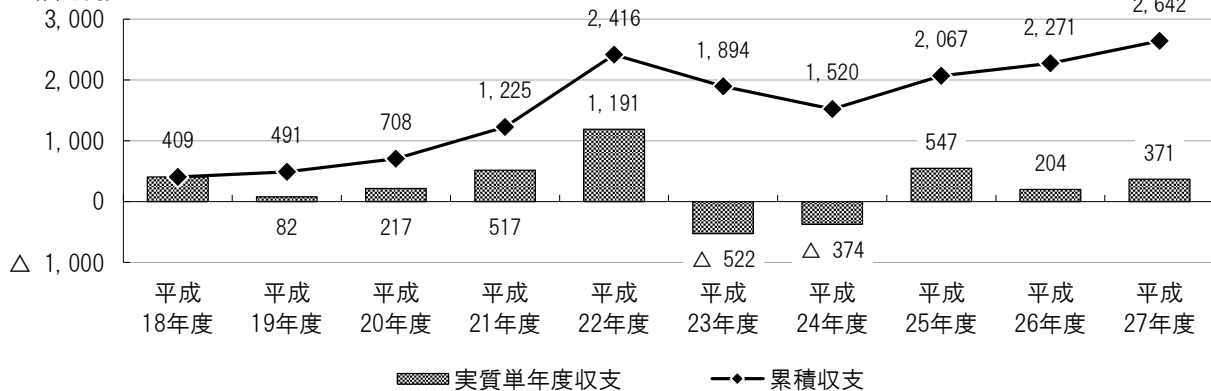
(百万円)



資料：岩見沢市資料

### ■実質単年度収支・累積収支の推移

(百万円)



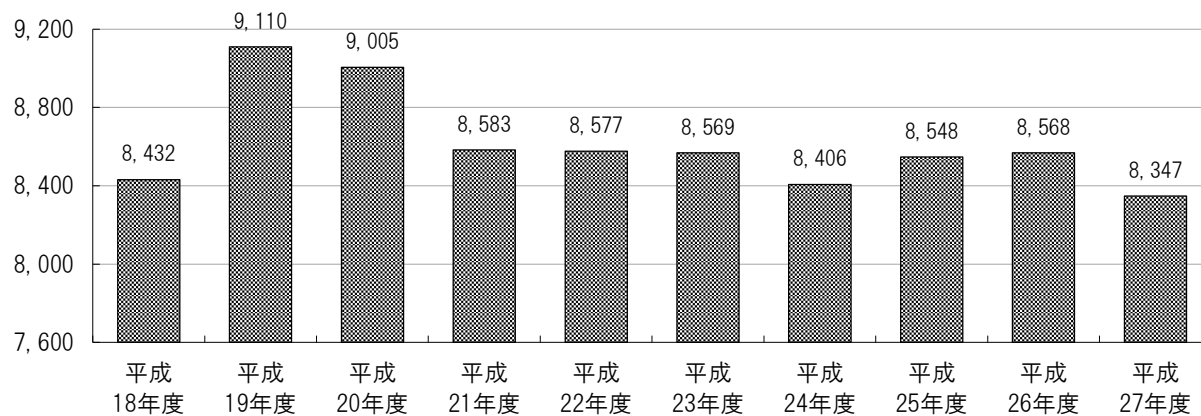
資料：岩見沢市資料

## (2) 歳入の状況

### ①市税

#### ■市税の推移

(百万円)

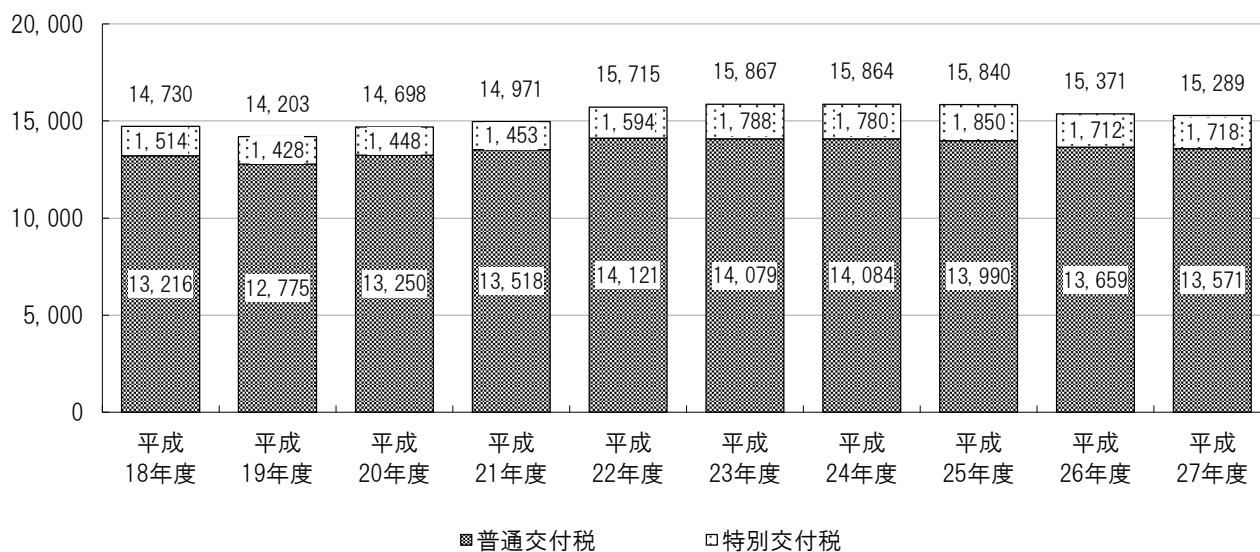


資料：岩見沢市資料

### ②地方交付税

#### ■地方交付税の推移

(百万円)



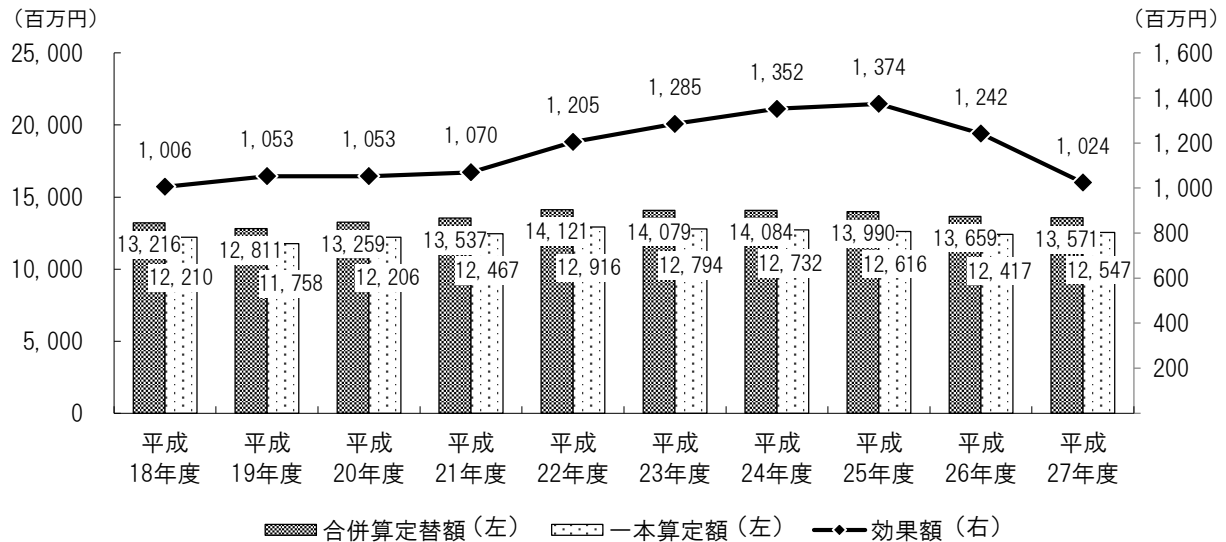
資料：岩見沢市資料

○普通交付税における合併特例債の効果として、10年間で約117億円の特例措置を受けたこととなります。

※普通交付税の特例措置（合併算定替）

- ・合併後10年間…「合併後の新団体としての算定額」と「合併関係団体がそのまま存続し続けたものとした場合」を比べて有利な方を選択
- ・その後5年間…段階的に縮減（激変緩和措置）

### ■合併算定替による効果



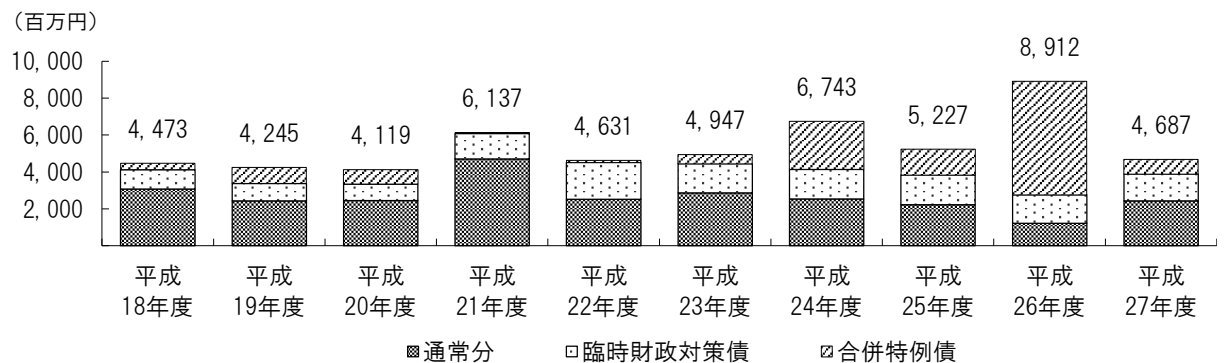
資料：岩見沢市資料

### ③市債

○平成23年度以降における生涯学習センターやごみ処分場の建設などの大型プロジェクトの財源として合併特例債を有効活用したことにより、市債は大きく増加しています。

○本市の合併特例債（発行額の7割に後年度の交付税算入される有利な起債）の発行可能額約226億円に対し、平成27年度までに約115億円発行しています。

### ■市債の推移



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
通常分	3,071	2,421	2,450	4,703	2,512	2,862	2,532	2,224	1,216	2,431
臨時財政対策債	1,048	951	891	1,382	1,999	1,576	1,607	1,607	1,540	1,451
合併特例債	354	873	778	52	120	509	2,604	1,396	6,156	805
合計	4,473	4,245	4,119	6,137	4,631	4,947	6,743	5,227	8,912	4,687

資料：岩見沢市資料

### (3) 歳出の状況

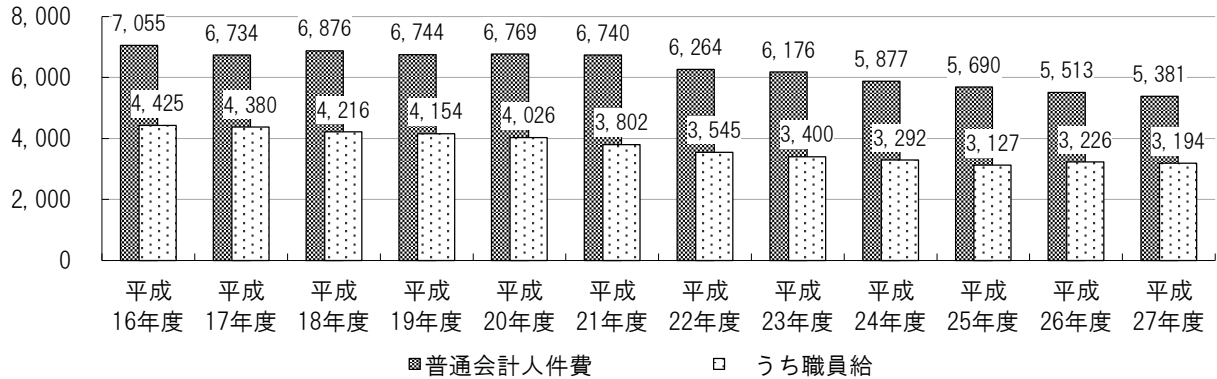
#### ①人件費

○人件費は、普通会計職員数の削減効果により、10年間で約13.5億円減少しています。

○合併に伴い、特別職人数は、合併前の13人から減少し、平成20年度以降は5人となっています

#### ■人件費の推移

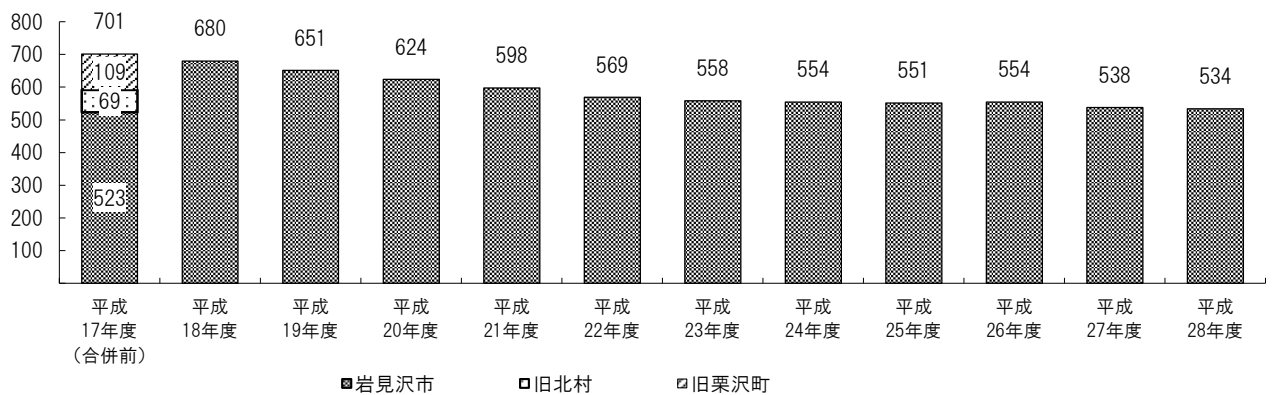
(百万円)



資料：岩見沢市資料

#### ■普通会計職員数の推移

(人)



資料：岩見沢市資料（各年4月1日現在）

#### ■特別職人数の推移

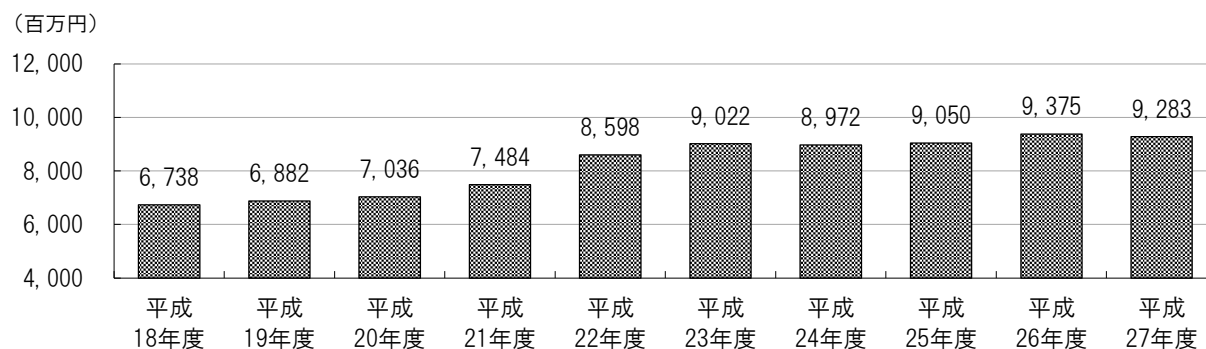
【単位：人】

	平成17年度(合併前)			平成18年度	平成19年度	平成20～28年度
	岩見沢市	旧北村	旧栗沢町			
首長	3	1	1	1	1	1
副市長(助役)	4	2	1	2	2	2
収入役	2	1	-	1	-	-
常勤監査委員	1	1	-	1	1	1
教育長	3	1	1	1	1	1
参与	0	-	-	2	2	-
計	13	6	3	8	7	5

資料：岩見沢市資料（各年4月1日現在）

## ② 扶助費

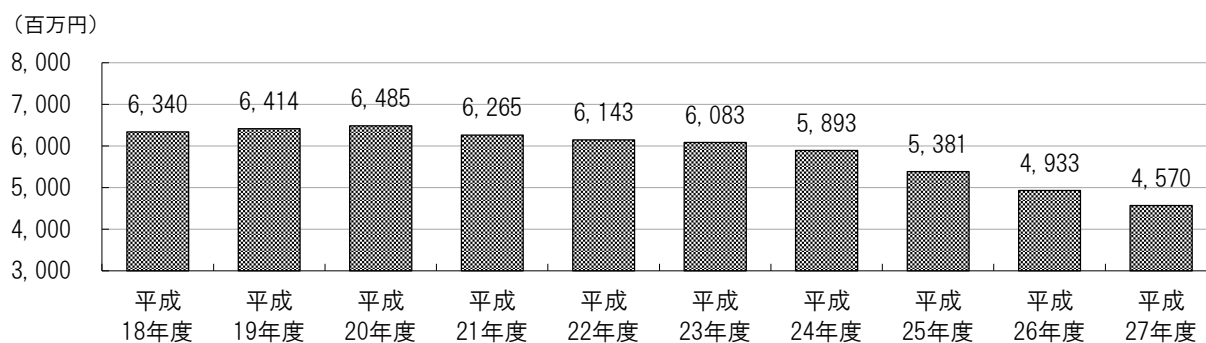
### ■ 扶助費の推移



資料：岩見沢市資料

## ③ 公債費

### ■ 公債費の推移

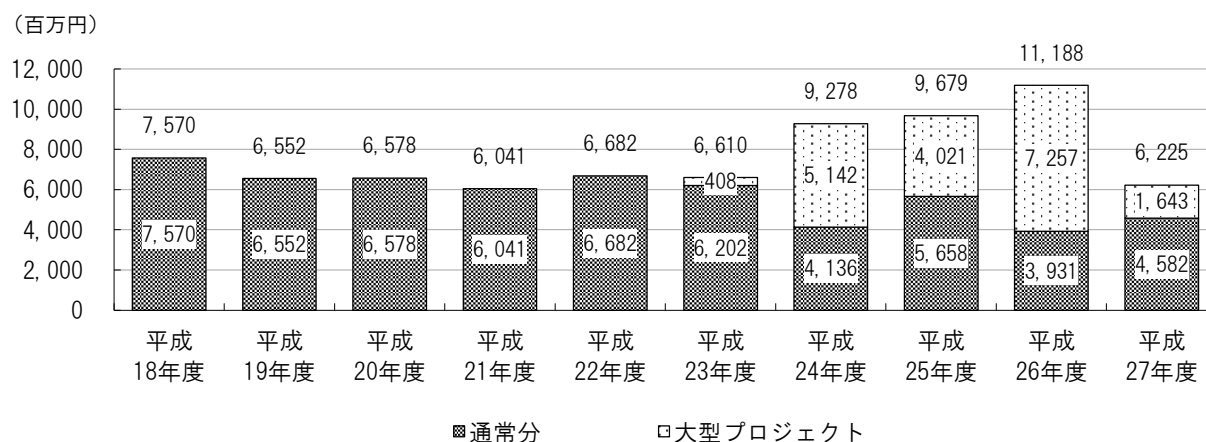


資料：岩見沢市資料

## ④ 投資的経費

○合併特例債を積極的に活用しながら、生涯学習センターやごみ処分場などの新市にとって真に必要な公共施設等の整備を進めています。

### ■ 投資的経費の推移



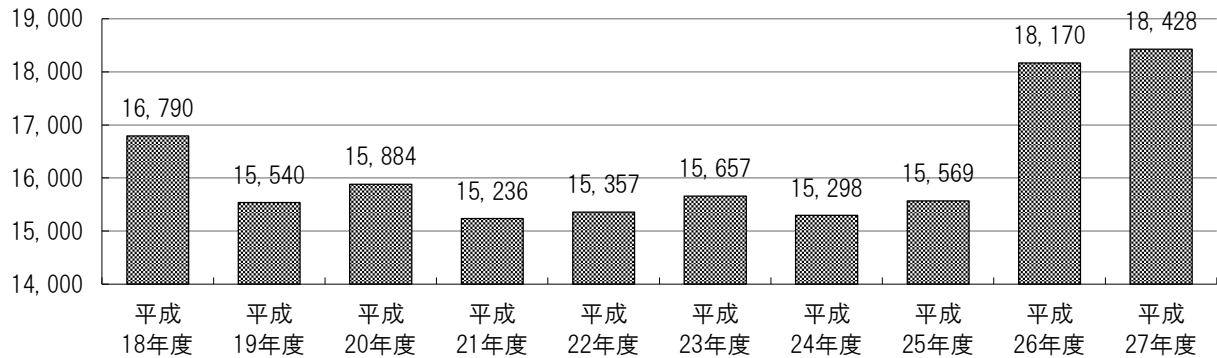
資料：岩見沢市資料

#### (4) 基金残高

○平成18年度末に約168億円保有していた基金は、豪雪による除排雪経費の増嵩に伴う財政調整基金の取り崩し等もあり、平成24年度末には約153億円まで減少しましたが、平成26年度に合併まちづくり基金約22億円を積み立て、平成27年度末の基金残高は184億円となっています。

##### ■基金残高の推移

(百万円)



資料：岩見沢市資料

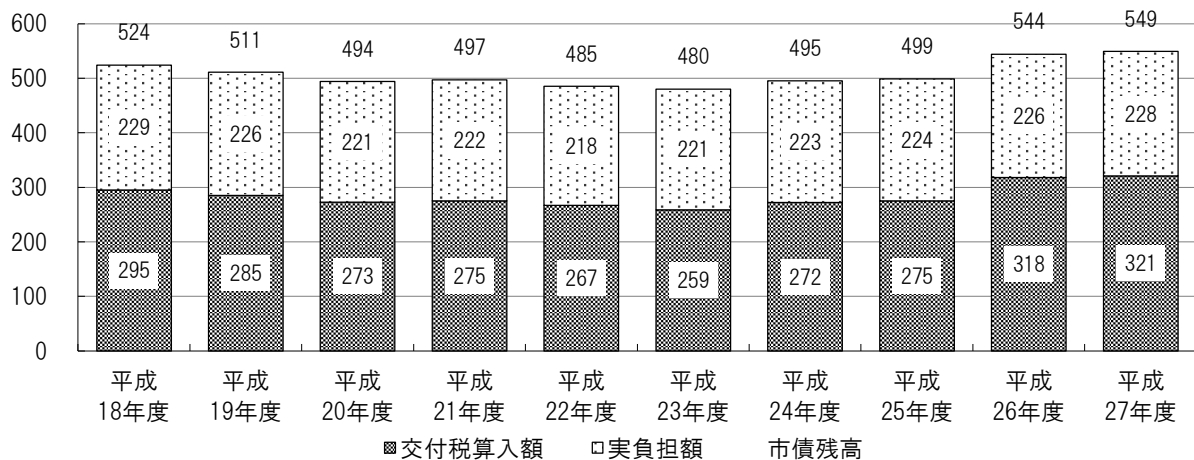
#### (5) 市債残高

○市債の残高は、繰上償還の実施などにより減少してきましたが、平成23年度以降における相次ぐ大型プロジェクトにより増加に転じています。

○交付税措置を除く実質的な負担は、合併特例債や過疎対策事業債など交付税措置の高い有利な起債を有効活用した結果、微増に抑えられています。

##### ■市債残高の推移

(億円)



資料：岩見沢市資料

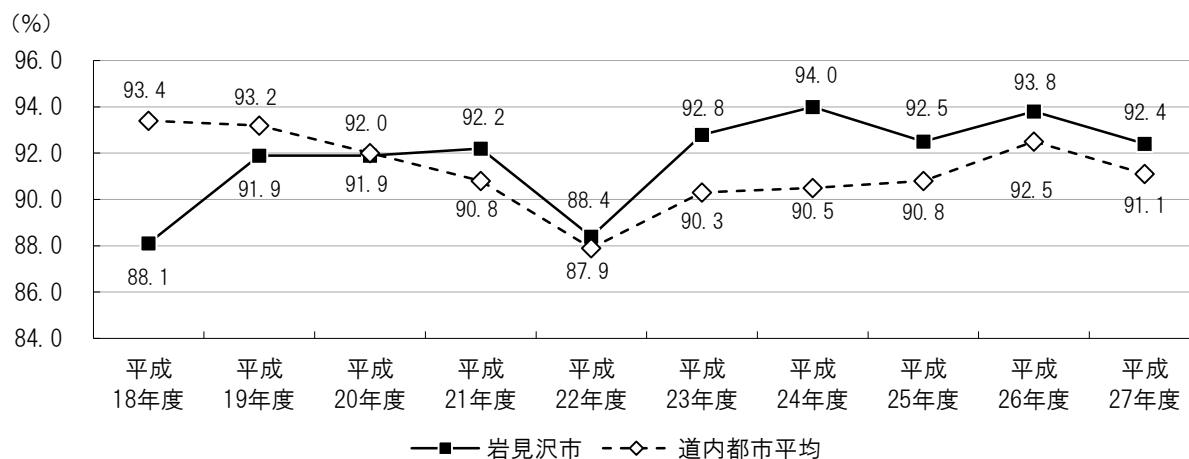


## (6) 財政指標

### ① 経常収支比率

○本市の経常収支比率は、除排雪経費や公共施設の維持管理経費に係る経常一般財源の比率が高いことから、他都市と比べて若干高い数値で推移しています。

#### ■ 経常収支比率の推移

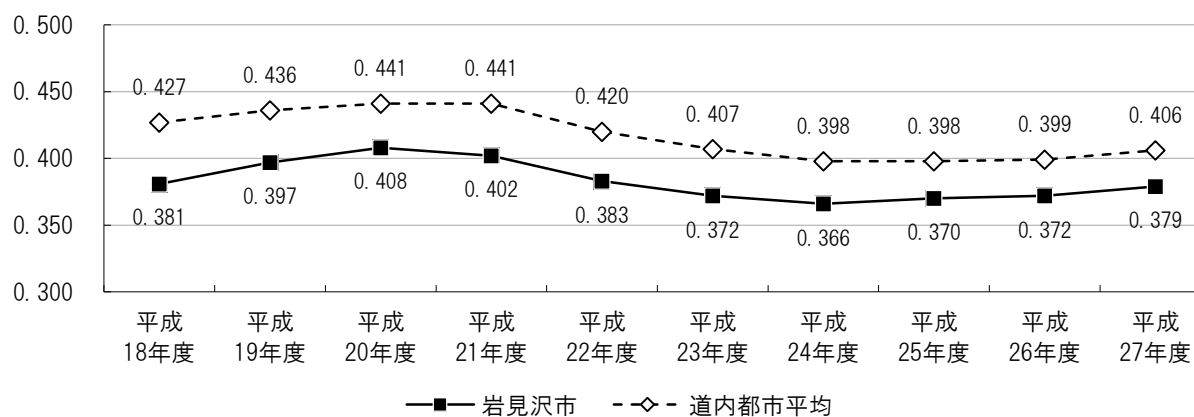


資料：岩見沢市資料

### ② 財政力指数

○本市の財政力指数は道内他都市平均よりやや低く、概ね0.4ポイント弱台で推移しています。

#### ■ 財政力指数の推移

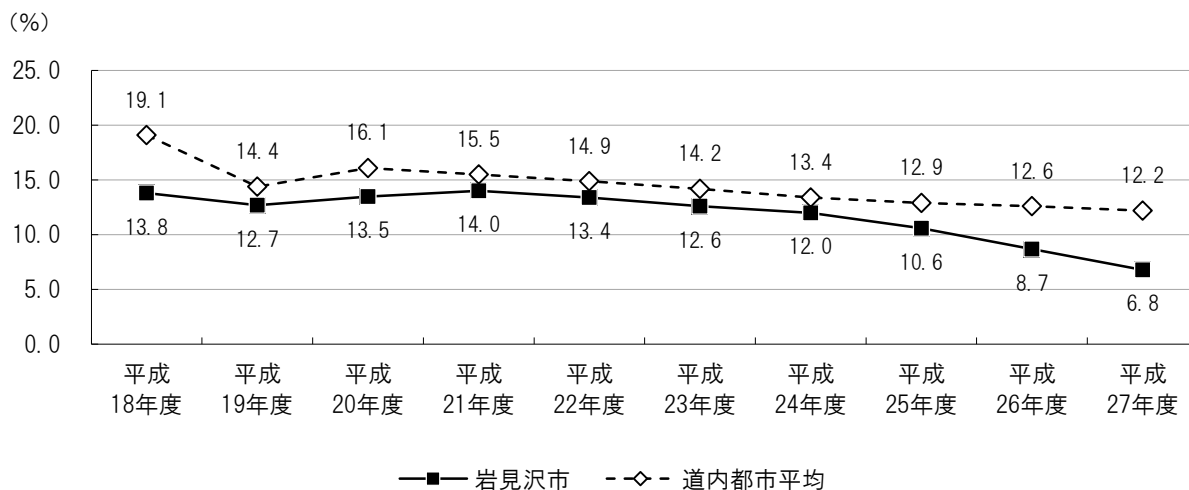


資料：岩見沢市資料

### ③実質公債費比率

○本市の実質公債費比率は、平成 21 年度をピークに年々減少し、早期健全化基準である 25%を大きく下回っています。

#### ■実質公債費比率の推移

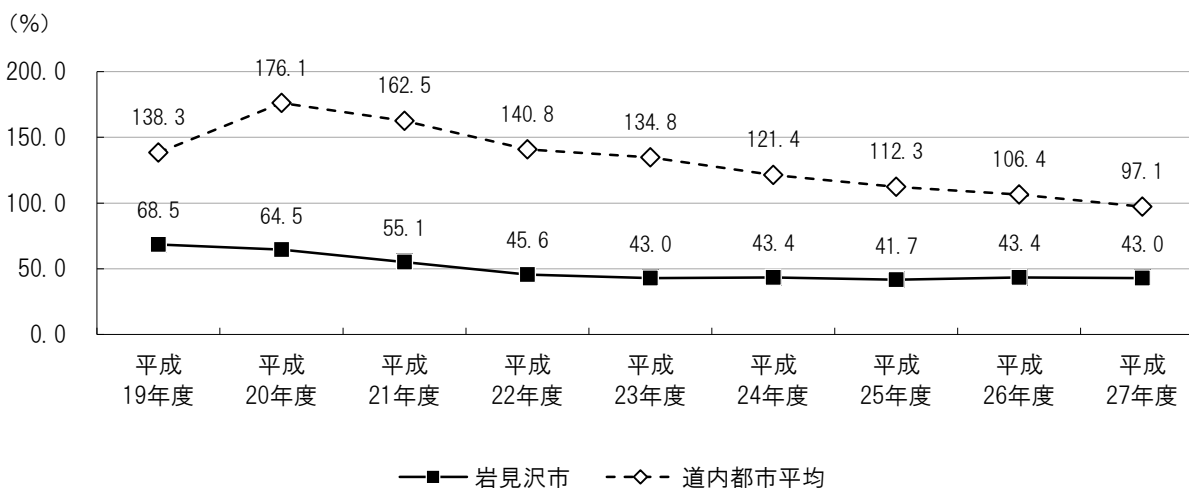


資料：岩見沢市資料

### ④将来負担比率

○本市の将来負担比率は、ここ数年 43%前後で推移しており、早期健全化基準である 350%を大きく下回っています。

#### ■将来負担比率の推移



資料：岩見沢市資料



